卄5M67

東京外國語學校一覽

從明治三十五年
至明治三十六年

293.5
1

東京外國語學校一覽

目次

學年曆 一
沿革概略 三
東京外國語學校ニ關スル法令
官制 四
職員定員 四
高等官官等俸給令 七
雇外國人使用方 八
校長舍監特別任用令 九
本校職員 九
本校規則 一〇
總則 一五

學科課程 一五
學年學期及休業 一八
入學在學及退學 一九
試業進級及卒業 二五
休學及缺席 二八
授業料 二九
特待生 三〇
貸費 三〇
委託生 三五
研究生 三六
撰科生 三七
別科規定 三八
生徒心得 三九
懲罰 四〇

寄附金　四一
生徒現員　四一
生徒年齡表　七六
卒業生及其就職ノ場所　七七
別科修了生　八八
別科生徒職業別　九八
明治三十五年七月卒業式ニ於ケル演說祝詞等　九九
附
生徒府縣別表
入學及卒業生徒累年比較表
本校略圖

東京外國語學校一覽

學年曆（自明治三十五年九月十一日至明治三十六年九月十日）

三十五年九月十一日　第一學期始
同　九月廿四日　休業（秋季皇靈祭）
同　十月十七日　仝（神嘗祭）
同　十一月三日　仝（天長節）
同　十一月廿三日　仝（新嘗祭）
同　十二月十六日　第一學期試業始
同　十二月廿四日　第一學期終
同　十二月廿五日　冬期休業始
三十六年一月七日　冬期休業終
同　一月八日　第二學期始
同　一月三十日　休業（孝明天皇祭）
同　二月十一日　仝（紀元節）

三十六年三月廿二日　仝（春季皇靈祭）
同　三月廿五日　第二學期試業始
同　四月三日　休業（神武天皇祭）
同　四月十日　第二學期終
同　四月十一日　第三學期始
同　六月十七日　學年試業始
同　七月十日　第三學期終
同　七月十一日　夏期休業始
同　九月十日　夏期休業終
同　同　學年終
毎日曜日　休業

沿革概略

本校ハ明治三十年四月高等商業學校ニ附屬トシテ設ケラレ仝月文部省直轄諸學校官制改正ニ依リ神田乃武主事ヲ命セラル仝月文部省直轄諸學校職員定員改正ノ際本校ノ職員ヲ定メラル七月規則ヲ制定シ英佛獨露西清韓ノ七科ヲ設ケ生徒ヲ正科特別科ノ二種ニ區別シ正科ヲ三ケ年特別科ヲ三ケ年以内ノ修業年限トナシ九月ヨリ實施セリ仝三十二年四月四日勅令第百十六號ヲ以テ本校ヲ東京外國語學校ト改稱シ仝日勅令第百十八號ヲ以テ本校職員定員ヲ定メラレ仝月五日神田乃武校長心得ヲ命セラレ仝月廿一日神田乃武校長ヲ命セラル此月校舍ヲ錦町三丁目十四番地ニ移シ規則ヲ改正シ伊語ノ一科ヲ加ヘテ八科トナシ更ニ副科ヲ置ク又特別科ヲ別科ト改メ其修業年限ヲ二ケ年トナシ正科ヲ本科ト改メ此月ヨリ實施セリ仝三十三年三月職員定員ヲ改正セラル仝年四月七日校長神田乃武本官ヲ免セラレ仝日文部省專門學務局長文學博士上田萬年校長事務取扱ヲ命セラル仝年六月入學及貸費ニ關スル規則ヲ改正シ仝年九月ヨリ之ヲ實施セリ仝年十一月廿日東京帝國大學文科大學教授文學博士高楠順次郎校長兼務ヲ命セラル仝

三十四年四月規則ヲ改正シ副科語學ヲ加ヘ又副科ニ四科ヲ增シ更ニ委託生研究生選科生ニ關スル規程ヲ設ケ同年九月ヨリ之ヲ實施セリ

東京外國語學校ニ關スル法令

官制

勅令第八拾六號(明治二十六年八月廿四日公布明治三十年勅令第百八號全三十二年勅令第百十七號全三十三年勅令第八十四號全三十四年四月勅令第二十四號ヲ以テ改正)

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京高等師範學校
廣島高等師範學校
女子高等師範學校
札幌農學校
盛岡高等農林學校
東京高等商業學校

神戸高等商業學校
第一高等學校
第二高等學校
第三高等學校
第四高等學校
第五高等學校
第六高等學校
第七高等學校造士館
山口高等學校
千葉醫學專門學校
仙臺醫學專門學校
岡山醫學專門學校
金澤醫學專門學校
長崎醫學專門學校

東京高等工業學校
大阪高等工業學校
京都高等工業學校
東京外國語學校
東京美術學校
東京音樂學校
東京盲啞學校

第二條第三條第四條第五條略ス

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
教授
助教授
書記

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ

監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トス生徒ノ教授ヲ掌ル

助教授ハ判任トス教授ノ職務ヲ助ク

第九條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十七條　專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スベキ者ヲ得ザル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルベシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ズ

職員定員

勅令第八十七號(明治二十六年八月二十四日仝三十二年勅令第百十八號仝三十三年勅令第八十六號仝三十四年三月勅令第二十五號ヲ以テ改正)

第一條　文部省直轄諸學校職員ノ定員ハ左ノ如シ

但シ兼任ハ此限ニアラズ

東京外國語學校

校長　一人
教授　十九人
助教授　十一人
書記　五人

高等官官等俸給令

勅令第百十九號(明治三十二年四月四日公布)

第一條　文部省直轄諸學校長ハ高等官二等以下六等以上トス
東京外國語學校長東京音樂學校長及東京盲啞學校長ハ高等官三等以下六等以上トス

第二條　文部省直轄諸學校教官ハ高等官三等以下トス

第三條　文部省直轄諸學校ノ專任舍監ハ高等官四等以下トシ兼任舍監ハ本官ノ官等ニ從フ

第五條　文部省直轄諸學校教官ハ其授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ノ年俸ヲ給スルコトアルベシ

第六條　文部省直轄諸學校教官ニシテ一校若クハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官並兼官ニ於ケル授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ應シ其本官ノ俸給ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

第七條　文部省直轄諸學校官制第十五條ニ依リ某學科ノ授業ヲ擔任スル囑託講師ニハ教官俸給額ノ內ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

雇外國人使用方

勅令第九十六號(明治二十六年九月九日)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

校長舍監特別任用令

勅令第百十三號(明治三十年四月二十二日公布)

文部省直轄諸學校長ハ一ケ年以上奏任教官ノ職ニ在リタル者ニ限リ仝舍監ハ左

ニ掲ル者ニ限リ試驗ヲ要セズ文官高等試驗委員ノ詮衡ヲ經テ任用スルコトヲ得

一、一箇年以上奏任敎官又ハ奏任官待遇ノ敎職ニ在リタルモノ

一、三箇年以上判任敎官又ハ判任官待遇ノ敎職ニアリタルモノ

職員

校長

東京帝國大學文科大學敎授
文學博士 高楠順次郎 兵庫縣士族

敎授

英語 ドクトル、オフ、フヰロソフヰー（シカゴ大學） 淺田榮次 東京府士族
マスター、オフ、アーツ（オックスフヰルド大學） ドクトル、フヰロソフヰー マギステル、アルチウムボーノールム（ライプチヒ大學）

獨逸國留學中 高等師範學校敎授 岡倉由三郎 東京府平民

獨逸國留學中 山口小太郎 東京府士族

英語 高等師範學校敎授 本田增次郎 岡山縣平民

獨語 ドクトル、フヰロソフヰー マギステル、アルチウムボーノールム（ライプチヒ大學） 尺秀三郎 東京府士族

韓語、言語學 文學博士 金澤庄三郎 大阪府士族

西國留學中

獨語 文學士 村上直次郎 大分縣平民

國際法 マスター、オフ、ロース（エール大學）ドクトル、ジヤンスポリチック、エー、アドミニストラーチーブ（ブルクセル大學） 水野繁太郎 岡山縣士族

英語 禰岡秀猪 東京府華族

清語 村井知至 愛媛縣士族

獨語 吳泰壽 長崎縣平民

露語 文學士 武內大造 埼玉縣平民

伊語 鈴木於菟平 東京府平民

西語 伊東平藏 東京府士族

英語 篠田賢易 東京府士族

外國敎師（就職順）

英語 第五臨時敎員養成所敎授 平井金三 東京府平民

清語 監生 金國璞 清國人

佛語 ボール、ジヤクレー フランシスコ、グリソリヤ 佛國人

西語 パチラー、エン、フヰロソフヰヤ、イ、レトラスイ、カチドラチコ 西國人

韓語		柳苾根	韓國人
韓語		趙慶協	韓國人
清語		于冲漢	清國人
獨語		エミール、ハリヤ	獨國人
英語		ヂヨーヂ、ウヰリヤム、スミス	英國人
英語	ドクトル、オフ、フヰロソフヰー（ボストン大學）	ジー、エツチ、ホースウエル	米國人
伊語		チエザレー、ノルサ	伊國人
露語	カンジダ、ド、フヰロロジー、ルッス、スラヴォニック	ヤーコフ、ユセフォウヒチ	露國人

講師（就職順）

清語		宮島大八	山形縣士族
佛語		神藤才一	神奈川縣平民
漢文		長井行	東京府平民
露語		小島泰次郎	東京府平民
佛語		市野良雄	東京府士族

佛語		織田信義	東京府士族
教育學	文學士	村上辰午郎	石川縣士族
獨語	男爵	槇村正介	東京府華族
伊語		吉田秀男	東京府平民
國語		落合直文	東京府士族
英語		片山寛	長野縣士族
露語		藤堂紫朗	東京府士族
經濟學		吉田義靜	熊本縣士族

助教授

清語		岡本正文	愛媛縣士族
佛語		瀧村立太郎	東京府士族
韓語		本田存	東京府士族
西語		金澤一郎	兵庫縣士族
獨語		田代光雄	東京府士族

露語　五十嵐　清　岡山縣士族
英語　上條辰藏　長野縣平民
体操　土田半六　東京府平民
英語　宮崎議平　北海道平民

囑託

衛生監督　陸軍一等軍醫　貝沼速　岩手縣士族
柔道及擊劍教師　鈴木鐵造　東京府平民

書記

會計主任　小澤銀十郎　長野縣士族
圖書掛　高等商業學校書記　西村正立　東京府士族
會計掛　秋山運四郎　宮城縣平民
教務掛　前田武雄　鹿島縣士族
會計掛　第五臨時教員養成所書記　宮定平　廣島縣平民

雇員

庶務掛　早川嘉儀　東京府士族
庶務掛　近藤菊雄　富山縣士族
教務掛　石川功　廣島縣平民
會計掛　稻葉宇作　新潟縣平民

東京外國語學校規則

（明治三十四年四月改正）

第一章　總則

第一條　本校ハ外國語ニ熟達シ實務ニ適スベキ者ヲ養成スル目的ヲ以テ歐洲及東洋ノ近世語ヲ教授スルトス

現今ニ於テハ英語、佛語、獨語、露語、伊語、西語、清語、韓語ヲ教授ス

第二條　本校生徒ノ修業年限ハ三箇年トス

第三條　本校ニ別科ヲ置クソノ規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二章　學科課程

第四條　本校ノ學科及課程左ノ如シ

各語學科課目毎週授業時數表

科目	(英)(佛)(獨)語・學科 第一年	第二年	第三年	(露)(伊)(西)語學科 第一年	第二年	第三年	(清)(韓)語學科 第一年	第二年	第三年	計
正科語學	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	二七
副科 英語	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
副科 佛語	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
副科 獨語	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
國語	二	(一)	(一)	(二)	(一)	(一)	三	二	二	二八
漢文	(一)	(一)	(一)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
經濟學	(三)*	(三)*	(三)*	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
國際法	(三)*	(三)*	(三)*	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
教育學	(二)*	(二)*	(二)*	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
言語學	(二)*	(二)*	(二)*	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	(四)	二八
體操	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二七
計	二七	二八	二八	二七	二八	二八	二八	二九	二九	

注意

一、正科語學第二年若クハ第三年ニ於テハ當該各國ノ歷史地理及文學ノ大要ヲ教授スルコトヲ要ス

二、表中()印ヲ附シタルモノハ隨意撰修スルヲ得撰修セル學科ハ總テ必修科トナシ正科語學體操ト仝一ニ取扱フモノトス

第一項　英、佛、獨、露、伊、西、語學科ニ於テハ通常一週四時ノモノ一科及一週三時ノモノ一科若クハ一週二時ノモノ一科ト一週一時ノモノ一科ヲ撰修スルモノトス但前學年總評點ニ於テ平均七十點以上ヲ得タルモノハ許可ヲ經テ更ニ一科ヲ加フルコトヲ得

第二項　表中＊印ヲ附シタル學科ハ一學年ニ於テ完結スベキモノトス故ニ次學年ニ於テ仝一ノ學科ヲ撰フコトヲ得ス

第三項　清韓語學科ニ於テハ通常一科ヲ撰修スルモノトス

更ニ一科ヲ兼修セントスルモノハ第一項但書ニ準シテ許可ス

三、以上各學科ノ外委託生、研究生其他ノ生徒ノ爲臨時科外講義ヲ開キ必要ナル補

修學科ヲ授クルコトアルベシ

第五條　本校生徒ニシテ第二年級以上ノモノハ學校長ノ認可ヲ經テ其所修學科以外ノ別科ヲ兼修スルコトヲ得

第三章　學年、學期及休業

第六條　學年ハ九月十一日ニ始リ翌年九月十日ニ終ル

第七條　學年ヲ分テ左ノ三學期トス

第一學期　從九月十一日至十二月二十四日

第二學期　從一月八日至三月三十一日

第三學期　從四月十一日至七月十日

第八條　年中休業日左ノ如シ

一日曜日

一秋季皇靈祭　秋分日

一神嘗祭　十月十七日

一天長節　十一月三日

一新嘗祭　十一月二十三日

一孝明天皇祭　一月三十日

一紀元節　二月十一日

一春季皇靈祭　春分日

一神武天皇祭　四月三日

一夏期休業　從七月十一日至九月十日

一冬期休業　從十二月廿五日至翌年一月七日

一春期休業　從四月一日至仝月十日

第四章　入學在學及退學

第九條　入學期ハ每學年ノ始トス

但必要ノ場合ニ於テハ或語學ニ限リ臨時入學ヲ許スコトアルベシ

第十條　本校ハ事宜ニ依リ所定語學中一語學科若クハ數語學科ノ生徒募集ヲ爲サヾルコトアルベシ

第十一條　中學校卒業生ニシテ品行方正身體健全ナルモノハ試驗ヲ要セスシテ

第一年級ニ入學ヲ許ス

但志願者ノ數豫定人員ニ超過シタルトキハ競爭試驗ヲ行フ入學志願者豫定人員ニ滿タサルトキハ其ノ他ノ志願者ニシテ入學試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ヲ補フ

第十二條　中學校卒業後三ケ年ヲ經過シタル者ニ對シテハ事宜ニ依リ入學試驗ヲ施行スルコトアルヘシ

第十三條　入學試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ中學校所定ノ全學科ニ就キ之ヲ行フ

中學校卒業生ノ競爭試驗ハ左ノ四科目ニ就キ之ヲ行フ

一、國語漢文　二、地理　三、歷史　四、外國語

第十四條　第二年級以上ニ入ラントト欲スル者ハ先ツ第一年級ニ入ルニ必要ナル資格ヲ檢定シ尋テ其志望學級以下ノ各級ノ課目ニ就キテ試驗ヲ行ヒ入學ノ許否ヲ定ム

第十五條　退學ヲ爲シタル者曾テ學修セシ語學科ニ再入學ヲ出願スルトキハ入學期ニ於テ試驗ヲ須ヰス原級若クハ其以下ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第十六條　入學志願者ハ第一號及第二號書式ニ準シタル入學願書履歷書ニ卒業シタル當該學校長ノ卒業證明書ヲ添ヘ指定ノ期日ニ於テ本校ヘ差出スヘシ

第十七條　中學校卒業生ニシテ入學ヲ許可セラレタルモノハ入學料金壹圓五拾錢ヲ納付スヘシ

中學校卒業生ニ非ザル入學志願者ハ出願ノ際試驗料金三圓ヲ納付スヘシ

但既納ノ試驗料ハ試驗ヲ受ケザルコトアルモ返付セス

第十八條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ第三號書式ニ準シタル在學證書ヲ差出スヘシ

第十九條　正副保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ東京府内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者又ハ本校ニ於テ殊ニ適當ト認ムル者ニ限ル但正副保證人ノ中一名ハ父兄若クハ後見人ニシテ東京府外ニ居住セルモノヲ以テ之ニ充ツルモ妨ナシ

保證人死去若クハ前項ノ資格ヲ失ヒタルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ保證人旅行ヲ爲サントスルトキ又ハ轉居改印等ヲ爲シ

タルヤハ其旨届出ツヘシ旅行ノ場合ニ於テハ代理人ヲ定ムルコトヲ要ス

第二十條　在學中ハ他ノ語學科ニ轉スルコトヲ得ス

第二十一條　疾病等ノ故ヲ以テ成業ノ見込ナキ者ニハ退學ヲ命シ出席極メテ不規則ナル者若クハ二學年ヲ超ユルモ尚進級スルコト能ハサル者ハ除名ス

第二十二條　退學セント欲スル者ハ其事由ヲ詳記シ(病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ)保證人連署ノ上出願スヘシ

第一號書式　(用紙美濃紙)

入學願書

私儀御校何語學科本科(別科)第何年級ヘ入學志願ニ付御許可被成下度別紙履歴書(幷ニ卒業證明書相添ヘ)此段相願候也

年月日

本籍族(職業)(戸主ニアラサル者ハ何某男又ハ弟等)

氏名印

何年何月何日生

現住所

東京外國語學校長宛

第二號書式　(用紙美濃紙)

履歴書

學業

一何年何月何地官(公)私立何學校ニ入リ何學科何年級修業或ハ全科卒業又ハ何某ニ從ヒ何學何年間受業用書何々

(卒業證書ヲ有スル者ハ其寫ヲ添付スヘシ)

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何々ニ付賞又ハ罰ヲ受ク

以上

年月日

氏名印

第三號書式　(用紙美濃紙)

在學證書

私儀今般御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ御規則等堅ク相守リ猥リニ轉校轉

科退學等仕間敷候仍テ證書如此候也

年月日

東京外國語學校長宛

本籍族(職業)（戸主ニアラサル者ハ何某男又ハ弟等）

氏　名　印

何年何月何日生

現住所

右何某今般入學致候ニ付テハ仝人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受可申候仍テ保證如此候也

族籍職業

正保證人　氏　名　印

住

族籍職業

副保證人　氏　名　印

住所

前書正副保證人何某ハ丁年以上ニシテ當郡區内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日

何郡區長　氏　名　印

注意　父兄又ハ後見人ニシテ保證人タルモノハ郡區長ノ證明ヲ要セス

第五章　試業、進級及卒業

第二十三條　試業ヲ分テ學期試業及學年試業ノ二種トス

第二十四條　學期試業ハ第一學期及第二學期ノ終リニ於テ該學期間履修シタル課目ニ就キ之ヲ施行ス

第二十五條　學年試業ハ第三學期ノ終ニ於テ該學年間履修シタル課目ニ就キ之ヲ施行ス

第二十六條　評點ハ各課目一百ヲ以テ最高點トス

第二十七條　各課目ノ學期評點ハ學期試業點ト日課評點トヲ合算シテ之ヲ定ムヘシ

但日課評點ヲ採ラザル課目ニ於テハ學期試業點ノミヲ學期評點ニ充ツルコトヲ得

第二十八條　各課目ノ學年評點ハ二學期評點平均數ニ學年試業點ヲ加ヘ其和ヲ二除シテ得ル者トス

第二十九條　諸課目學年評點平均數ヲ學年總評點トス

第三十條　學年ノ終ニ於テ學年總評點六十以上ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ及　セシム

但平素缺席多キ者ハ此限ニアラス

一、學年評點六十未滿ノ課目ナキ者

一、學年評點六十未滿ノモノ一課目アルモソノ評點四十五以上ニシテ且學年試業點若クハ學期評點平均數六十以上ノ者

一、學年評點六十未滿ノモノ二課目アルモ其評點共ニ五十以上ノ者若クハ一課目四十五以上他ノ一課目五十以上ニシテ孰レモ學年試業點若クハ學期評點平均數六十以上ノ者

一、學年評點六十末滿ノモノ總課目ノ半數以內ニシテソノ評點孰レモ五十以上ヲ有シ學年試業點若クハ學期評點平均數七十以上ノ者

第三十一條　原級ニ止メタル者ニハ次學年ノ始ヨリ該學級ノ全課目ヲ再修セシム

第三十二條　每學年ノ終ニ於テ進級シタル者ノ姓名ハ學年總評點ノ順ヲ以テ掲示ス

但第三十七條ノ場合ハ此限ニアラス

第三十三條　日課評點ヲ得サル者及許可ナクシテ學期試業若クハ學年試業ニ缺席シタル者ニハ總テ零點ヲ附ス

第三十四條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ許可ヲ經テ學期試業ニ缺席シタルモノニハ次學期ノ始ニ於テ追試業ヲ行フ

但此場合ニ於テハ試驗得點ヨリ其十分ノ二ヲ減ズルモノトス

第三十五條　學年試業ヲ受クルコト能ハサル者ソノ病氣ニ罹ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ事故ニ係ルモノハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ試業當日若クハソノ以前ニ追試業ヲ願出ツルトキハ特ニ之ヲ許スコトアルヘシ

但追試業ヲ受ケント欲スル課目ノ學期評點平均數六十以上ニアラサレハ之

ヲ許サス

第三十六條　追試業ハ次學年始業後二週日以內ニ之ヲ施行ス第三年級ノ生徒ニ對シテハ學年試業完了後直ニ施行スルコトアルヘシ

第三十七條　第三年級生徒ニシテ學年試驗ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス卒業者ノ席次ハ各學年總評點平均數ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　休學及缺席

第三十八條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ノ爲メ二箇月以上出席スル能ハサル者ニシテ休學ヲ願出ツルトキハ事情ニ依リ該學年間之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十九條　休學願書ニハ保證人連署ヲ要ス病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第四十條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ全課目ヲ履修スルモノトス休學ノ事由消滅スルトキハ休學中ト雖モ許可ヲ得テ出席スルコトヲ得

第四十一條　兵役ニ服スル者ハ其現役中休學シ滿期ノ後原級ニ復スルコトヲ得

第四十二條　休學ノ許可ヲ得タル者ニハ第二十一條後段ヲ適用セズ

第四十三條　病氣又ハ事故ノ爲メ缺席スル者ハ其當日ヨリ三日以內ニ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ病氣ノ爲メ五日以上缺席スルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第四十四條　前條届出ノ日限ニ後ルヽカ又ハ無届缺席スル者ハ其情狀ニ依リ第三十條但書ニ準シテ處分ス

第七章　授業料

第四十五條　授業料ハ一學年金貳拾圓トシ每年二回九月及二月中指定ノ日ニ於テ其半額ヲ徵收ス

第四十六條　授業料納付期日ニ違フ者アルトキハ未納中停學ヲ命シ之ヲ保證人ヨリ徵收ス其未納三週日ニ至ルモノハ除名ス又仝一ノ理由ニ依リ停學ノ處分ヲ受クルコト一學年間二回ニ及ブモノハ除名ス

第四十七條　既納ノ授業料ハ何等ノ場合ト雖モ之ヲ返付セス

第四十八條　病氣又ハ事故ニ困リテ缺席數月ニ渉ルヿアルモ授業料ヲ免除セス

但第三十八條ニ依リ休學ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニ非ズ

第四十九條　第九條但書第四十條後段第四十一條第五十四條但書ノ場合ニ於テハ直ニ授業料ヲ納付セシム

但九月授業料納付期日以後翌年一月三十一日以前ニ係ルモノハ授業科全額二月授業料納付期日以後七月十日以前ニ係ルモノハ半額ヲ徴收ス

第五十條　半途退校ノモノニシテ授業科納付期日以前ニ係ルモノハ其期間ノ授業料ヲ徴收ス

第八章　特待生

第五十一條　第二年級以上ノ生徒ニシテ學術優等品行方正ナル者ヲ撰ヒ特待生ト爲ス

第五十二條　特待生ハ授業料ヲ免除ス

第五十三條　特待生ハ毎學年ノ末ニ於テ其學年ノ成績ニ依リ學校長之ヲ定ム

第五十四條　學業ヲ怠リ若クハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生ヲ罷ム

但此場合ニ於テハ第五十二條ノ特典ヲ失フモノトス

第九章　貸費

第五十五條　貸費ヲ分テ保護貸費奬學貸費ノ二種トス

第五十六條　保護貸費金ハ官費ヲ以テ奬學貸費金ハ官廳ノ委託金又ハ有志者ノ寄付金ヲ以テ之ニ充ツ

第五十七條　本科生ニシテ特別ノ保護ヲ要スル學科ヲ修メ學力優等品行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキ者ニハ當該年間年額百圓以内ノ學資ヲ貸附スルモノトス

第五十八條　本科生ニシテ學力優　品行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキ者ニハ當該年間年額百圓以内ノ奬學金ヲ貸附スルコトアルベシ

第五十九條　貸費ヲ受ケント欲スル者ハ學業ノ目的及貸費希望ノ理由ヲ具シ保證人連署ノ上願出ヅベシ

第六十條　會社又ハ一私人ヨリ貸費資金ヲ寄附セントスルトキハ其目的ニ從ヒ甲號或ハ乙號ノ書式ニ準シタル開陳書二通ヲ差出シ學校長ノ承諾ヲ受クヘシ

第六十一條　貸費ヲ受クル者ハ丙號ノ書式ニ準シタル誓約書ヲ差出スヘシ

第六十二條　貸費ヲ受ケタル者ハ卒業ノ翌月ヨリ起算シ貸費ヲ受ケタル月數ニ

二倍スル期限内ニ於テ其貸費金額ヲ月賦返納スヘシ

但第六十五條ノ場合及本人死亡ノ場合ハ貸費ヲ返納スルニ及ハス

第六十三條　貸費生ニシテ左ニ掲クル條項ノ一ニ當ルトキハ其貸費ヲ罷ム

一　學業懈怠ノ者

二　品行不良ノ者

三　試驗ニ落第シタル者

四　停學ヲ命セラレタル者

以上ノ各項ニ依リ貸費ヲ罷メラレタルモノハ第六十二條ニ準シ貸費ヲ返納スヘシ

第六十四條　貸費生ニシテ退學及除名ノ處分ヲ受ケタル者又ハ病氣其他ノ事故ニ依リ退學スル者ハ其當日ヨリ三十日以内ニ既ニ受ケタル貸費金額ニ對シ一ケ年六分ノ利子ヲ付シ全額ヲ返納スヘシ

第六十五條　寄附者ハ貸費ヲ受クル者ニ對シ卒業後貸費ヲ受ケタル年數ト均シキ期限内某事業ニ從事セシムルコトヲ條件ト爲スコトヲ得

第六十六條　總テ返納金ハ本人之ヲ納メサルトキハ保證人ヨリ辨納セシムヘシ

第六十七條　保證人死去又ハ其資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ代人ヲ立テ誓約書ヲ書換ユヘシ

甲　號（用紙美濃紙）

出金開陳書

何語學科生徒何名分學資トシテ金何圓（或ハ年々金何圓何回）ヲ東京外國語學校へ差出候間相當ノ生徒御選定貸與相成度尤右生徒卒業ノ上ハ某事業ニ從事爲致度儀ニ有之候間此旨豫テ誓約セシメラレ度此段開陳候也

年　月　日

住所族籍

氏　名　印

東京外國語學校長宛

乙　號（用紙美濃紙）

出金開陳書

何語學科生徒奬學ノ爲メ金何圓（或ハ年々金何圓何回）東京外國語學校へ差出候

東京外國語學校規則

間相當ノ生徒御選定貸與相成度尤右生徒卒業ノ上從事ノ職業ハ別ニ制限不致候間貸與學資ハ御校ノ規定ニ從ヒ返納爲致更ニ他ノ生徒ヘ御貸與相成度此段開陳候也

年　月　日

東京外國語學校長宛

住所族籍

丙　號（用紙美濃紙）　氏　名　印

誓約書

私儀本年何月ヨリ何年何月迄本校保護貸費（又ハ何某ノ奬學貸費）金何圓貸與相受候ニ付テハ御校貸費規定ヲ遵守（且卒業後ハ何々事業ニ從事）可致万一違背ノ節ハ保證人連帶ヲ以テ返納金其他一切ノ責ニ任スヘク仍テ保證人連署ノ上誓約仕候也

年　月　日

本人　氏　名　印

住所　族籍　職業

保證人　氏　名　印

住所　族籍　職業

保證人　氏　名　印

東京外國語學校何語學科生徒

東京外國語學校長宛

第十章　委託生

第六十八條　本校ハ官廳、會社、學校等ヨリ其目的ヲ指定シテ生徒ノ養成ヲ委託スル場合ニハ之ニ應スルコトアルヘシ

第六十九條　委託生ハ特別ノ規定アルモノヽ外本科生ト共ニ業ヲ受ケシムルモノトス

第七十條　委託生ハ其目的トスル語學科ヲ修ムルニ堪ユルヤ否ヤヲ檢定シテ入學ヲ許可ス

第七十一條　委託生ノ入學料授業料ハ本校規則第四章第十七條及第七章ノ規定

ニ依リ徴收ス

第七十二條　委託生ニハ本人ノ申請ニ依リ修業證書ヲ交付ス

第七十三條　本科生徒ト仝一ノ試驗ヲ經テ入學シタル委託生ニハ卒業證書ヲ授與ス

第七十四條　委託生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

第十一章　研究生

第七十五條　卒業生ニシテ本校所設ノ學科ヲ研究センコトヲ望ム者ハ學校長ノ許可ヲ經テ研究生タルコトヲ得

第七十六條　研究ノ期限ハ二箇年以内トス

第七十七條　研究生ハ在學費トシテ金五圓ヲ指定ノ日ニ於テ納付スヘシ

但在學年間授業料ノ規定ヲ適用セス

第七十八條　研究生ハ保證人ヲ要セス

第七十九條　研究生研究ヲ終リタル時ハ本人ノ申請ニ依リ證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

第八十條　研究生ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ遵守スヘシ

第十二章　撰科生

第八十一條　一語學科中ノ一課目又ハ數課目ヲ選ヒテ專修センコトヲ願出ツル者アルトキハ授業上差支ナキ場合ニ限リ學年ノ始ニ於テ選科生トシテ入學ヲ許可ス

第八十二條　選科生ハ所選ノ課目ヲ學修スルニ堪ユル學力アルコトヲ要ス

第八十三條　選科生ノ入學料授業料ハ本校規則第四章第十七條及第七章ノ規定ニ依リ徴收ス

第八十四條　所選ノ課目ヲ修了シタルトキハ本人ノ申請ニ依リ修了證書ヲ授與ス

第八十五條　選科生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

別科規定

第一條　別科ハ速成ヲ旨トシ本校所定ノ各語學ヲ教授スルモノトス

第二條　別科ハ職業ヲ有スル者若クハ特別ノ事情アル者ニ限リ學校長ノ意見ニ依リ入學ヲ許ス

第三條　別科ノ修業年限ハ二箇年トス

第四條　別科ノ授業時間ハ毎週十五時間以内トス

第五條　別科第一年級ニ入ラントスル者ハ入學試驗ヲ要セス但必要ト認ムルトキハ殊ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第六條　別科ハ毎學期ノ始ニ於テ入學ヲ許ス但第二學期以後ニ入學セントスル者ハ試驗ノ上之ヲ許ス

第七條　事宜ニ依リ或語學科ノ生徒募集ヲ爲サヽルコトアルヘシ

第八條　別科入學料ハ金壹圓トス但第二章第五條ニ依リ兼修スル者及本校卒業生ニシテ入學スル者ハ之ヲ納付スルニ及ハス

第九條　別科授業料ハ一學年金拾圓トシ第一學期ニ四圓第二學期ニ三圓第三學期ニ三圓ヲ指定ノ日ニ於テ徴收ス但本校規則第二章第五條ニ依リ兼修スル者及別科生ニシテ所修語學以外ノ學科ヲ修ムル者ニハソノ兼修學科ニ對シ授業料ヲ半減ス

第十條　別科生ニハ本校規則第四章第二十一條ノ後段第五章第三十五條但書第三十六條ノ規定ヲ適用セス

第十一條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ許可ヲ經テ學期試業ニ缺席シタルモノニハソノ學期間ノ成績ヲ參酌シ認定點ヲ付スルカ又ハ追試業ヲ受ケシムル

第十二條　別科ヲ修了シ一定ノ試驗ヲ經タル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第十三條　別科ヲ修了シタル者ニシテ尚温習セント欲スル者ハ原級ニ留マルコトヲ得

第十四條　別科生ニハ休學、特待生、貸費ノ規定ヲ行ハス

第十五條　別科生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

生徒心得

第一條　本校生徒ハ常ニ敎育勅語ヲ遵奉シ須臾モ之ニ背カサランコトヲ期スヘ

シ

第二條　學業ヲ勵ミ規律ヲ守リ言行ヲ愼ミ苟モ生徒タル本分ヲ失フコトアルヘカラス

第三條　本科生ハ制服制帽ヲ着用シソノ他ノ者ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第四條　學校長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ校内ニ於テ猥ニ會同スヘカラス

第五條　本籍氏名又ハ宿所ヲ變更シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第六條　凡ソ告示ハ之ヲ揭ケタル日ヨリ一般ニ知了シタル者ト認ムルヲ以テ常ニ之ニ注意スヘシ

第七條　校内所定外ノ場所ニ於テ飲食喫烟スヘカラス

懲罰

第一條　規則及命令ニ違背スル者校内ノ風敎ヲ害スル者又ハ怠惰不品行等生徒タルノ資格ヲ失スル者ハ其輕重ニ依リ之ヲ處罰ス但處罰ハ德義ニ基キテ之ヲ斷シ單ニ形跡ノミニ拘ハラサルヘシ

第二條　罰科ヲ分テ戒飾、停學、放校ノ三種トス但他ノ規則ニ明文アルモノハ其條規ニ依リ處分ス

第三條　戒飾ハ訓誨ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ停學ハ一學年間以内敎室ニ入リテ學修スルコトヲ停メ放校ハ學校ヨリ放逐スルモノトス

寄附

本校設置以來金員及建物ヲ寄贈セシモノ左ノ如シ

寄贈品及寄贈ノ名義	寄贈者
伊語科生徒奬學貸費金	伊語協會長侯爵鍋島直大
柔道及擊劍道場	東京外國語學校々友會長 文學博士 高楠順次郎

（明治三十五年九月末日調）

本校生徒現員

本科生

英語學科第三年級

青木松之亟	島根縣平民	小山田千代壽	青森縣士族
赤羽作一郎	長野縣平民	太田立助	京都府平民
熊田敏	滋賀縣士族	錦織房之助	宮城縣士族

仝　第二年級

松本肇	島根縣士族	本多石介	福井縣士族
小野赳	靜岡縣士族	安田政治郎	東京府平民
角田松次郎	群馬縣平民	堀曉三	廣島縣平民
清水家助	兵庫縣士族	內田正一	東京府士族
山田藤助	山口縣平民	松田宗一	宮崎縣士族
今西喜藏	奈良縣平民	北村良三	香川縣士族
豐田貞次郎	和歌山縣士族	中村叔平	長野縣平民
杉田善次	東京府平民	加納直人	福岡縣士族

藤本治郎	愛媛縣士族	小川吉雄	新潟縣士族
青木敬三	新潟縣士族	岡健夫	山口縣士族
奈古屋英馬	山口縣平民	五島治郎八	大分縣平民
中村精一	東京府平民	加唐謙吉	東京府士族

仝　第一年級

小泉熊男	新潟縣平民	山名貞夫	和歌山縣平民
岩田重行	愛媛縣平民	設樂眞太郎	埼玉縣平民

鈴木清八	福島縣平民	井上正直	愛媛縣士族
眞下利三郎	群馬縣平民	宇都宮浩	大分縣平民

佛語學科第三年級

島田勝之助	東京府平民	若月胖	山梨縣平民
齋藤武夫	岡山縣平民	兼弘正雄	鹿兒島縣士族
尾藤龍夫	愛知縣平民	杉本寬次郎	兵庫縣平民
		石黑覺太郎	石川縣士族
		宍戶千顯	愛媛縣士族
		中富敏夫	福岡縣士族
		城谷默	東京府平民
		南部實吉	高知縣平民
		湯下惣一	東京府平民
		岸本光治	大阪府平民
		上田義雄	大分縣平民

井上正直	愛媛縣士族	藤本治郎	愛媛縣士族
宇都宮浩	大分縣平民	青木敬三	新潟縣士族
阿比留栞	長崎縣士族	奈古屋英馬	山口縣平民
楠瀨正躬	高知縣士族	五島治郎八	大分縣平民
仙波重義	福岡縣士族	中村精一	東京府平民
岩切鳳一	鹿兒島縣士族	加唐謙吉	東京府士族
林修一郎	愛知縣平民		
小倉二郎	千葉縣平民		
佐藤均	大分縣士族		
工藤慧達	熊本縣平民		
增田朴	熊本縣平民		

小川吉雄	新潟縣士族	藤本治郎	愛媛縣士族
岡健夫	山口縣士族	青木敬三	新潟縣士族
淺野寅治郎	岐阜縣平民	奈古屋英馬	山口縣平民
吉良馬吾	高知縣平民	五島治郎八	大分縣平民
三俣一郎	群馬縣平民	中村精一	東京府平民
西尾宣次郎	大阪府平民	加唐謙吉	東京府士族

池田政雄 鹿兒島縣 華族
喜多川清 平 東京府 民族

山崎一郎 士 青森縣 族
田久保昌雄 士 熊本縣 族

小西喬一 平 和歌山縣 民
大内敬一 士 茨城縣 族

仝 第二年級

村瀨信次 平 東京府 民
水澤定 士 東京府 族
本間武彥 士 兵庫縣 族
早川忠哉 平 山梨縣 民
若月馥次郎 平 茨城縣 民
山口鏢次郎 士 新潟縣 族
下川正治 士 東京府 族
西村潤藏 平 神奈川縣 民

道明英次 平 東京府 民
河合義一 平 兵庫縣 民
小林林次郎 平 群馬縣 民
川治庄太郎 平 福井縣 民
脇坂孝之助 平 東京府 族
守山政吉 平 長崎縣 民
山川八太郎 平 大阪府 民
長田剛雄 平 山梨縣 民

森繁 士 福岡縣 族
安藤惟一 士 東京府 族
市川恒吉 士 岐阜縣 族
志賀要次郎 士 東京府 族
志村鑄太郎 士 東京府 族
北島耕造 平 靜岡縣 民

仝 第一年級

前橋庄三郎 平 栃木縣 民
森田正雄 士 愛知縣 族
堀田延千代 平 大阪府 民
町田梓樓 平 長野縣 民
田口作郎 士 秋田縣 族
金田完 士 岡山縣 族
土居晴見 平 高知縣 民
高島利男 平 香川縣 民
田島清 平 高知縣 民
海野幾之介 平 茨城縣 民
松岡八郎 士 青森縣 族
館村甚治 平 石川縣 民

草間末治 平 長野縣 民
島田龍彥 士 福岡縣 族
佐藤政次郎 平 宮城縣 民
宮本文彌 平 埼玉縣 民
小枝指健造 平 岩手縣 民
龜割陸男 平 長野縣 民
平瀨保之助 士 福井縣 族
水谷恭助 平 茨城縣 民
西川亮一 平 東京府 民
澁谷甲藏 平 宮城縣 民
副田詮次 平 石川縣 民
青木英彥 士 東京府 族

葛目春良 士 高知縣 族
天野虎若 士 山口縣 族
森田安吉 平 香川縣 民
太原甫吉 平 靜岡縣 民
吉良歌吉 平 高知縣 民
高木秀雄 平 佐賀縣 民
兒玉隆三 士 山口縣 族
中島德郎 平 大分縣 民
和田幸彥 士 福井縣 族
新井謹三郎 平 京都府 民

獨語學科第三年級

仝　第二年級

北條力之助	靜岡縣平民	金原三郎	靜岡縣平民
大槻正人	東京府平民	稻坂秀松	石川縣平民
桐川攝	千葉縣平民	武田爲次	宮崎縣士族
富井泰	兵庫縣平民	里見太	長野縣士族
赤尾友三郎	富山縣平民	秋元喜久雄	靜岡縣平民爵
井上直志	鹿兒島縣平民	中溝多摩吉	東京府平民
伊藤英樹	高知縣士族	渡邊格太郎	福岡縣平民
莊直一	岡山縣平民	金義鑑	愛知縣平民爵
安部千太郎	宮城縣平民	飯島道修	東京府士族
西原泉之助	愛媛縣平民	黑塚壽一	佐賀縣士族
國岡三樹	福島縣平民	鶴具重太郎	栃木縣平民
谷與一	岡山縣平民	横井忠吉	大分縣士族
早乙女新二	東京府士族	外山高一	東京府士族
虫明嘉源次	岡山縣士族	石高令太	新潟縣平民
金井俊英	長崎縣平爵	塙信吉	茨城縣平民
中島龜彥	東京府士族	藤野義二	神奈川縣平民
海江田虎次郎	東京府華族	羽根田揮	福島縣士族
		大谷基輔	東京府士族

仝　第一年級

梅山讓	群馬縣平民	岸良三郎	埼玉縣平民
加藤美	愛知縣平民	石倉一	千葉縣平民
山內壽男	栃木縣平民	鹽月彌	愛媛縣平民
村岡政二	鹿兒島縣士族	麥倉嘉吉	東京府士族
高辻豐	埼玉縣平民	池內篤	宮崎縣士族
安立辰彥	東京府士族	日下部佐太郎	京都府平民
藤井尊法	福井縣平民	飯田安男	大阪府平民
竹崎虎惣太	高知縣平民	松岡易三	奈良縣平民
山本壽一	愛知縣士族	松崎爲三郎	廣島縣平民
鈴木正武	福島縣平民	寺田敏夫	靜岡縣平民
伊達友俊	和歌山縣士族	森本六郎	大分縣平民
關口信次	茨城縣平民	川南盛利	鹿兒島縣士族
都鳥次郎	岩手縣士族	山田俊三郎	岡山縣平民
栗原重康	福井縣士族	中島精一	東京府士族
橋本繁太郎	廣島縣平民	田中喜久藏	廣島縣平民
小林優	京都府士族	村上竹藏	福岡縣平民
高林盛彌	東京府士族	堤勇	熊本縣士族
石附秀一	新潟縣平民	藤原性信	德島縣平民

露語學科第三年級

岡本　績	和歌山縣士族	山川收藏	福井縣士族
水野島治郎	愛知縣平民		
清水三三	山梨縣平民		
山下義雄	山梨縣平民		
櫻井又男	熊本縣士族		
鈴木相之助	福井縣士族		
川角忠雄	愛知縣士族		

仝　第二年級

兒玉豐彥	鹿兒島縣士族	松田衛	大分縣士族
栗原信男	東京府士族	鈴木新吉	東京府平民
熊谷直吉	秋田縣平民	八木明昌	東京府平民
		伊崎千秋	茨城縣士族
		木暮謙二	群馬縣平民
		羽中田淳策	山梨縣士族
北島常晴	東京府士族	藤井孝八郎	栃木縣平民
中尾秀男	鹿兒島縣士族	緒方整肅	熊本縣士族
山岡光太郎	廣島縣平民	淺羽卿	東京府平民
		鮎貝冬雄	長野縣士族
		剛崎虎雄	熊本縣士族
長澤貞	栃木縣士族		
飯泉孫次郎	茨城縣平民		
植田一夫	神奈川縣士族		

仝　第一年級

佐和彌一郎	群馬縣士族	大江久太郎	香川縣平民
竹津樑	石川縣平民	酒井泉	佐賀縣士族
樺山猛一	鹿兒島縣士族	牧野左馬三	大分縣士族
高畑誠一	香川縣士族	中川正雄	兵庫縣士族
浪江良平	埼玉縣平民	藤井十四三	山口縣平民
谷村清兵衛	富山縣平民	野村義郎	三重縣士族
佐藤寬	福井縣平民	檀野貞記	長崎縣士族
岡田貞作	新潟縣士族	村松美雄	新潟縣平民
內藤賴吉	愛知縣平民	藤井董	愛媛縣士族
家村盛吉	鹿兒島縣平民	花俣幸昌	埼玉縣平民
諸岡三郎	長崎縣平民	甘利四郎	長野縣平民
山德貫之輔	東京府士族	酒井醇	靜岡縣平民
石井良直	北海道士族	高島榮治	茨城縣平民
竹內彌惣次	三重縣平民	有門勇平	福岡縣平民
		宮本榮三郎	茨城縣平民
		白河太司	新潟縣平民
		黑柳良之助	東京府平民
		三ヶ尻邦彥	大分縣平民
		島田正靖	高知縣士族
		安村省三	岩手縣士族
		加藤明	愛知縣士族

伊語學科第二年級

廣瀨徹	石川縣士族	梶沼英治	福島縣士族
前田茂穗	福井縣士族	平田稔	和歌山縣士族
十時惟親	福岡縣士族	谷文平	群馬縣平民
藤平文藏	岩手縣平民	長谷川松次	新潟縣平民
坪川政治	福井縣平民	生田武	福井縣平民
新井三郎	群馬縣平民	村田兵藏	群馬縣平民
木村恪	愛知縣平民	橋口九十万	長崎縣士族
城子悌二郎	長野縣平民	宮崎繁	長野縣平民

伊語學科第一年級

吉田彌	德島縣平民	濱口光雄	三重縣平民
石田善太郎	東京府平民	有島壬生	東京府士族

仝　第一年級

平下信一	廣島縣平民	佐々木三雄	熊本縣士族
成瀨正義	東京府平民	倉岡義三	北海道平民
原利一	廣島縣平民	淺野高輿	東京府士族
木下蕃	福井縣平民	向原喜祝	鹿兒島縣平民
草野泰吉	福島縣平民		

西語學科第二年級

原蟆郎	山梨縣平民	豐島昌	茨城縣士族
久米惟一	大阪府士族	磐瀨三郎	東京府士族
安藤欽二	東京府平民	齋藤辰次郎	福島縣平民
堀三武	京都府平民	大平善太郎	三重縣平民
天雄	廣島縣士族	青柳敏男	福島縣士族
近藤逸五郎	東京府士族	長岡乙彥	東京府士族
大森忠彥	茨城縣士族	西脇金三郎	新潟縣平民
森島繁	廣島縣士族	松並壘郎	滋賀縣平民
中島胤男	大分縣平民	樋口光辰	東京府士族
森本榮亮	高知縣士族	野中太一郎	新潟縣平民

西語學科第二年級

中山九萬	長野縣士族	赤塚敬一	新潟縣平民
森米八	長崎縣平民	秦正雄	三重縣平民
木村儀一郎	新潟縣平民	中村作治	山口縣平民
飯野佐一	愛知縣士族	伊東正雄	大分縣平民
福島末光	三重縣士族	渡邊周三郎	栃木縣平民
永原勉	東京府士族		
長谷川長和	茨城縣平民		
日野爲三郎	廣島縣平民		

仝　第一年級

角岡正三	平兵庫縣民	益子三郎	士茨城縣族
春日廓明	平東京府民	阪上良太郎	平和歌山縣民
田中勘四郎	平愛知縣民	中村清	士德島縣族
澁川義雄	士佐賀縣族	宮地善吉	平佐賀縣民
足立潮	平大分縣民	宮井右馬之助	平福島縣民
野口廣二	平東京府民	山中金五郎	平三重縣民
福田卯吉	平廣島縣民	佐藤豐司	平群馬縣民
久世孝吉	平福井縣民	辻駒一郎	士佐賀縣族

清語學科第三年級

佐藤巖	平岩手縣民	今泉三八郎	士佐賀縣族
寺田由衛	士愛媛縣族	塩川伊四郎	平長野縣民
佐藤敵治	平東京府民	酒井久吉	平神奈川縣民
竹內脩吉	平三重縣民	赤羽信夫	士福島縣族
倉澤保	士東京府族	宮田三郎	士茨城縣族
梅村美賊	平神奈川縣民	楢橋重喜	士福岡縣族

仝　第二年級

諸岡三郎	士佐賀縣族	宇佐美右之	士東京府族
秋山昱禧	平山梨縣民	高江正庸	士鹿兒島縣族
稻葉要作	平靜岡縣民	內藤惟行	士愛媛縣族
鈴木準	士福井縣族	山元敬二	士鹿兒島縣族
山崎淳一郎	士佐賀縣族	樋口勝	士三重縣族
中村準輔	平山口縣民	小網仁三郎	平群馬縣民
里見庸三	平枥木縣民	澁谷樵造	士高知縣族
志岐吉彥	士沖繩縣族	山田吾郎	平靜岡縣民
八木直藏	平靜岡縣民	竹內午郎	士東京府族
品治貞	平香川縣民	正墻肇	士鳥取縣族
滿岡勳一	士佐賀縣族	太宰文平	士愛媛縣族
尾越晴彥	士山口縣族		

仝　第一年級

神谷衡平	平東京府民	柳谷鉄也	士秋田縣族
清水豐一	平長野縣民	小松光治	平大阪府民
綾部德次郎	平茨城縣民	岡村節	士鳥取縣族

野村常治 宮城縣平民
三宅芳雄 熊本縣士族
甲賀三郎 靜岡縣平民
近田美喜太郎 愛知縣平民
佐久間鉄次郎 佐賀縣士族
浦瀨豊次郎 長崎縣士族
遠山猛雄 茨城縣平民
山崎重次 島根縣平民
齋藤文雄 新潟縣平民
東海林光治 神奈川縣士族

小川文之助 佐賀縣平民
井手歸吉 東京府平民
長谷理敎 山形縣平民
島田千代治 山梨縣平民
中島純敎 兵庫縣平民
浦保壽 高知縣士族
平田恒太郎 東京府平民
加美山壽 宮城縣平民
齋藤孝太郎 宮崎縣士族
小山田廣志 栃木縣士族

中島久雄 佐賀縣士族
須古純造 佐賀縣士族
軸丸卓爾 福岡縣士族
木川加一 廣島縣平民
吉增宏 神奈川縣平民
有井寛吾 山口縣平民
茅野房次郎 千葉縣平民
笹沼政治 東京府平民
宮川鹿之助 長崎縣平民

韓語學科第三年級

藤戸計太 長崎縣平民

綿引鶴松 茨城縣平民

渡邊倉藏 福島縣平民

仝 第二年級

河野小七郎 佐賀縣士族
本多寛三 福井縣平民

天谷操 東京府士族

木田庫三 東京府平民

仝 第一年級

清水清次郎 宮城縣平民
藤野幸作 石川縣平民
田中良之 埼玉縣平民
馬塲庄吉 佐賀縣平民
島田慶三郎 東京府平民
青樹律 愛知縣平民
井手貞吉 福岡縣平民
吉野辰之助 埼玉縣平民
近藤信一 福井縣士族
平岡翼 靜岡縣士族

末永健一 東京府平民
櫻木勇次郎 富山縣平民
堀江三郎 佐賀縣士族
北村悌三 香川縣士族
大塚頼之助 茨城縣平民
武間卓一 兵庫縣士族
野上榮 東京府士族
森山靜造 東京府士族
桝見俊英 福岡縣平民
曲主馬 福岡縣平民

山田知章 愛知縣平民
村上安造 京都府平民
鈴木巳之作 栃木縣平民
中村源左衛門 福岡縣平民
岩倉一 宮崎縣平民
小杉榮二 宮崎縣士族
池見謙吉 和歌山縣平民
岸本德三郎 兵庫縣平民
中島直吉 靜岡縣平民

研究生

英語學科

伴野八郎 兵庫縣平民
淵上嚴 福岡縣士族
古賀十二郎 長崎縣平民

佛語學科

成島朝一 靜岡縣士族
武村元造 東京府士族
矢橋春造 京都府士族

獨語學科

太田爲治 京都府士族
磯山健 茨城縣士族

露語學科

小野清一 東京府士族
關善八 熊本縣平民
鈴木利貞 鳥取縣平民
松本俊造 千葉縣士族
守經雄 東京府平民
佐藤武則 長野縣士族
上村哲三 鹿兒島縣士族
佐々木常三郎 宮城縣平民
吉田衡 福井縣士族
宮崎議平 北海道平民
野田久三郎 大阪府平民
田代光雄 東京府士族
齋木延次郎 廣島縣士族

伊語學科

近藤寶五郎 神奈川縣平民
和泉良之助 茨城縣平民
久綱小治郎 愛知縣平民
小林武麿 東京府士族
永井義麿 神奈川縣平民
田中乙 福井縣士族
村田乙三郎 東京府士族
平塚若麿 茨城縣士族
股野貫之 兵庫縣平民
池田鏸太郎 大分縣士族

西語學科

丸井三次郎 和歌山縣平民
平松輝太郎 三重縣士族
桑原信義 熊本縣平民
渡部三彥 栃木縣平民
竹下末吉 島根縣平民
大部八洲夫 茨城縣平民
堀田延千代 大阪府平民

清語學科

蔭山石五郎 德島縣士族
增井茂松 三重縣平民
石垣光義 東京府士族
船橋甚兵衛 兵庫縣平民

韓語學科

選科生

英語學科第三年級

山口有信	愛知縣平民	
福原資孝	埼玉縣平民	
小野雄志	岡山縣平民	
山本恒太郎	東京府士族	
上杉憲章	山形縣華族	
秋吉英三	東京府士族	
長谷省二	三重縣平民	
細川久一	東京府平民	
伊東四郎	東京府士族	
齋藤二三	山口縣士族	

仝　第二年級

仝　第一年級

稻田謹	東京府士族	

佛語學科第三年級

曹汝霖	清國人	

仝　第二年級

二木宗吉	東京府士族	

仝　第一年級

管野榮次郎	福島縣平民	
澄川彌兵衛	山口縣平民	
白川資長	東京府華族	

獨語學科第二年級

野口雄三郎	佐賀縣士族	
松岡彥野	熊本縣士族	
田中龜治	秋田縣士族	
武田久吉	東京府平民	

小笠原昌齋 平 山梨縣民
綱島清次郎 平 新潟縣民

仝　第一年級

肥田野行 平 東京府民
中村眞太郎 平 東京府民
余語淳 士 山形縣族

露語學科第三年級

竹田寅藏 平 奈良縣民

仝　第二年年

神谷薫 士 北海道族
中田幾太郎 平 廣島縣民

大倉勳夫 平 東京府民
飯村辰二 平 茨城縣民
長谷川保定 士 東京府族

江馬益也 士 岐阜縣族
伊良子暉造 士 和歌山縣族
岡田阿蘇男 平 千葉縣民

田代錦太郎 士 熊本縣族

仝　第一年級

百尾覺三郎 士 滋賀縣族

伊語學科第一年級

佐々木絃雄 士 東京府族

西語學科第二年級

半田虎雄 士 東京府族

仝　第一年級

宇治田宗七 平 和歌山縣民

大野義雄 士 富山縣族

清語學科第三年級

森安一 平 奈良縣民

菊川龜次郎 熊本縣 士族

仝　第二年級

木村三枝 兵庫縣 平民

仝　第一年級

穗積秀範 三重縣 平民

三宅松次郎 兵庫縣 平民

別科生

英語學科第二年級

片山喜十郎 京都府 平民

小田内通敏 秋田縣 士族

後藤敬三 東京府 士族

森文 東京府 士族

小出鎰次郎 東京府 士族

金子助次郎 長野縣 平民

仝　第一年級

山形龜次郎 東京府 士族

內山秋太郎 靜岡縣 平民

小泉有道 石川縣 士族

吉福奧四郎 長崎縣 士族

崎田弘 東京府 平民

加納鐵二 鹿兒島縣 士族

山中榮藏 山口縣 士族

蜂屋三千三 東京府 士族

秋月源太郎 靜岡縣 平民

倉橋軍次 宮城縣 平民

高橋精一郎 岡山縣 士族

小川松輔 宮城縣 平民

三浦秀二 長崎縣 士族

松井億太郎 茨城縣 平民

保阪莊 千葉縣 平民

塚越榮太郎 東京府 士族

谷氷輔 福島縣 平民

石川功 廣島縣 平民

大村足彥 東京府 平民

仝　第一年級

板倉貞男 千葉縣 平民

鈴木熊三郎 宮城縣 平民

田中一夫 東京府 士族

松川二郎 東京府 平民

中澤藤甫 長野縣 平民

濱野初五郎 東京府 平民

宅間廣嗣 東京府 士族

河原鐵男 石川縣 平民

山之內榮藏 鹿兒島縣 平民

宗像金吾 福島縣 平民

篠崎金太郎 福岡縣 平民

島村實 三重縣 平民

岡本共次郎 千葉縣 平民

河野堯齋 東京府 平民

安永邦弘 愛媛縣 平民

內田保成 東京府 士族

石山保次郎 新潟縣 平民

金崎直衛 愛媛縣 士族

室谷藤太郎 平 兵庫縣民
狹野由次郎 平 埼玉縣民
栗野德一 士 宮城縣族
加來俊太郎 平 大分縣民
加古政藏 平 兵庫縣民
古橋照太郎 平 埼玉縣民
金治哲 士 秋田縣族
村形英次郎 平 東京府民
大谷市太郎 平 京都府民
太田喜次郎 平 京都府民
葛西千春 平 新潟縣民
小泉親明 士 福井縣族
細川玖 平 長野縣民
由月義一 平 兵庫縣民

堀重幸 平 東京府民
熊代惣三郎 平 和歌山縣民
小泉巖雄 士 東京府族
河村竹三郎 平 岐阜縣民
岡本太郎 士 神奈川縣族
宮越健太郎 平 新潟縣民
堀川美哉 平 三重縣民
永見壽六 平 島根縣民
太田芳之助 平 東京府民
有島健助 平 鹿兒島縣民
信永諦藏 平 山口縣民
和田清四郎 平 沒木縣民
加藤利雄 平 東京府民
原庄藏 平 靜岡縣民

宇野武 士 山口縣族
辻勝 士 和歌山縣族
菱川虎雄 士 岡山縣族
植田一夫 士 神奈川縣族
澁谷樵造 士 高知縣族
半田虎雄 士 東京府族
日野爲三郎 平 鹿島縣民
吉岡七郎 平 東京府民
稻葉要作 平 靜岡縣民
秋山昱禧 平 山梨縣民
天谷操 士 東京府族
山本眞太郎 士 靜岡縣族

佛語學科第二年級

前原準一郎 平 群馬縣民
吉岡七郎 平 東京府民
黑島定靜 士 高知縣族
松原制六 士 山口縣族

池田宗太郎 士 宮城縣族
齋藤豐作 平 東京府民
本間重策 平 新潟縣民
古賀一雄 平 廣島縣民

井關榮造 士 東京府族
野田爲太郎 士 鳥取縣族
秦正雄 平 三重縣民

仝　第一年級

村山廣吉 士 秋田縣族
北村臣六 平 三重縣民
伊達五郎 華 東京府族
前島精二郎 士 島根縣族
越田佐一郎 平 東京府民
森本秋太郎 士 東京府族

太田榮 士 岡山縣族
長美太 平 岡山縣民
廣崎寬吾 平 大分縣民
神西熊吉 士 千葉縣族
辻熊次郎 士 東京府族
堀內茂右衛門 平 東京府民

寺內幾四郎 平 茨城縣民
利根政喜 平 東京府民
中野春 平 東京府民
幸尾隆太郎 士 佐賀縣族
平澤均治 士 青森縣族
田淵一郎 平 香川縣民

武田定吉 平 千葉縣民
田鹿勝二 士 石川縣族
酒井芳正 平 三重縣民
板野辰次郎 平 岡山縣民
伊藤閻也 平 愛知縣民
黑瀨貞一 平 岡山縣民
横山若翰 平 東京府民
吉坂順一 平 山口縣民
菅谷龍平 平 東京府民
原胤如 士 靜岡縣族
吉原開 士 東京府族
八十與一 平 兵庫縣民
林行彥 平 福井縣民
前田恒治郎 平 京都府民

喜多村三木造 士 京都府族
渡邊廣重 士 宮城縣族
安藤正純 平 東京府民
小野耕一 平 東京府民
植月喬 士 岡山縣族
鈴村芳次 平 東京府民
菊地駒次 士 東京府族
芹澤勘治 平 山梨縣民
宮崎團治郎 平 長野縣民
中西清一 平 東京府民
柳田國男 士 長野縣族
酒卷麟 平 埼玉縣民
島野宗次郎 平 東京府民
生野團六 平 大分縣民

日暮忠 士 東京府族
藤井義雄 平 東京府民
寺澤鍵二 平 愛知縣民
木村衛 平 新潟縣族
中村平吉 士 岩手縣族
伊藤司郎 平 埼玉縣民
川村重治 平 高知縣民
赤崎參輔 士 山口縣族
倉田薰 平 東京府民
佐々木高吉 士 愛知縣族
高津友保 士 東京府族
阪本俊一 平 長野縣民
奧野幸吉 士 兵庫縣族
飯田精一 士 山口縣族

船尾榮太郎 士 和歌山縣族

獨語學科第二年級

今津重輔 平 山口縣民
小笠原昌齋 平 山梨縣民
眞弓眞 士 愛知縣族
六笠弘躬 士 東京府族
石崎久吉 平 愛媛縣民
小島熊治 士 東京府族
小倉知秀 士 山口縣族
安藤謙三 平 大分縣民
松崎故一郎 士 島根縣族
伊東榮三郎 平 東京府民
比志島義雄 士 鹿兒島縣族

中野亥九男 士 三重縣族
小倉俊圓 士 山口縣族
篠田樹一 平 岐阜縣民
毛利正義 平 東京府民
大久保直記 士 長野縣族
合田壽治 平 東京府民
岡本隆一 士 神奈川縣族
白川資長 平 東京府族
平島直太郎 士 德島縣族
脇阪貫一 士 兵庫縣族
黑住靜太 士 岡山縣族

關口通太郎 平 栃木縣民
永江猪三郎 士 鹿兒島縣族
笠原留七 平 岡山縣民
小池豐司 士 靜岡縣族
宮永學而 平 福井縣民
星野昇平 平 新潟縣民
河村素彥 平 廣島縣民
飯岡桂太郎 士 福井縣族
吉田喜三郎 平 茨城縣民
船田虎次郎 平 富山縣民
吉崎芳夫 平 神奈川縣民

仝　第一年級

新宮涼男　平京都府民
富田繁樹　士長野縣族
水野義人　士群馬縣族
瀨川賴太郎　平愛媛縣民
石黑恭一郎　平岡山縣民
石井敞雄　士岡山縣族
小池素康　平新潟縣民
杉原正壽　平廣島縣民
高橋萬次郎　士新潟縣族
丸田正家　士東京府族
原錠次郎　平東京府民
村井代助　平東京府民

馬場大八　平佐賀縣民
上杉儁　士青森縣族
田原清助　士大分縣族
長野祐常　士鹿兒島縣族
賀五郎　士東京府族
澤鶴次郎　平東京府民
宮喜三郎　平埼玉縣民
橫山暢九　清國人
熊加藤灌覺　士愛知縣族
日比野惟信　平東京府民
山本一造　平千葉縣民
鈴木芳夫　平宮城縣民

梅谷光貞　平兵庫縣民
岡村藏男　平長野縣民
齋藤能躬　士熊本縣族
赤塚彌太郎　平三重縣民
齋藤正幹　士東京府族
牧信　士北海道族
石塚信一　士北海道族
櫻井武藏　士福井縣族
布施政之　平新潟縣民
萩原音吉　平神奈川縣民
岡田瑞陽　平栃木縣民
中川隆治　平新潟縣民

八田敏夫　平福井縣民
岩橋良藏　平兵庫縣民
立澤基　平埼玉縣民
黑田茂彥　士山口縣族
伊藤長作　平靜岡縣民
鈴木覺藏　士東京府族
伊東泰助　平千葉縣民
萩野傳一郎　平靜岡縣民
三浦大造　士島根縣族
高木茂一　平東京府民
大井藤吉　士埼玉縣族
野々部本祐　平東京府民
齋藤彥彌　士滋賀縣族
柳澤文生　平長野縣民

鶴間重敦　士東京府族
金子藤太郎　平新潟縣民
森田次郎　士高知縣族
白津文乙　平福島縣民
三谷氏郎　平香川縣民
三輪六郎　士山口縣士族
大關久五郎　士青森縣族
澤山勇三郎　士山口縣族
清水米松　平東京府民
島村忠次郎　士島根縣族
角田松兵衛　平千葉縣民
堀重作　平長野縣民
藤野了祐　平福井縣民
竹內三郎　平茨城縣民

佐原辰雄　平島根縣民
岡村嘉藏　平山口縣民
堤幸麿　士佐賀縣族
中島吉太郎　平千葉縣民
鈴木春吉　平三重縣民
中里新太郎　平群馬縣民
津久井德次郎　平群馬縣民
藤田修太郎　士福井縣族
三原安太郎　平東京府民
坂口觀三　士宮崎縣族
土屋貞三　平神奈川縣民
小林信一　平東京府民
井田豐太　平群馬縣民
鍵山薰明　平高知縣民

國司順熊 山口縣士族
早川友三 鹿兒島縣士族
白石正明 福島縣平民
切田太郎 岩手縣平民
金田捨吉 宮崎縣士族
猪俣儀兵衛 鹿兒島縣平民
石田雄二 長野縣士族
渡邊秀作 愛知縣士族
小久保彌太郎 愛知縣平民
小澤信次郎 東京府士族
稅所源吾 鹿兒島縣士族
小田部家貞 秋田縣士族
塚本久代治 秋田縣平民
尾村義誠 東京府士族

前田保十良 山梨縣平民
山梨勝治 宮城縣士族
佐藤純之助 埼玉縣平民
森六藏 茨城縣士族
柴田健次郎 長崎縣平民
諏訪連 東京府士族
田畑梅次郎 富山縣平民
村井善藏 青森縣平民
高橋正知 山梨縣平民
西塚豊三郎 宮城縣平民
吉村幸實 神奈川縣士族
野村謙助 山口縣平民
大森源三 長野縣平民
澤己三尾 新潟縣士族

水野禮作 新潟縣平民
湯淺泉 埼玉縣士族
森谷當治 靜岡縣平民
石黑定美 愛知縣士族
田中禮三 北海道平民
渡邊義政 神奈川縣士族
松野重太郎 靜岡縣平民
安田稔 東京府士族
原田稔甫 山口縣士族
益田政一 東京府士族
西田昌胤 富山縣平民
海老澤義四郎 新潟縣士族
安田藤治郎 大阪府平民
田口碩臣 東京府平民

橋本八年 大阪府平民
山根靜智 島根縣平民
田村彥四郎 東京府士族
新津二郎 長野縣平民
佐藤榮三 三重縣平民
牛木寬三郎 新潟縣平民
長谷安兵衛 宮城縣平民
熊野榮次郎 石川縣士族
長井杏四郎 北海道平民
宇佐美濃守 新潟縣平民
井口二郎 東京府平民
豊田八十代 兵庫縣平民
矢吹茂政 東京府士族
繩田利介 山口縣平民

瀨下清 長野縣士族
矢島淳平 愛知縣平民
小島伯信 兵庫縣平民
塩入濱吉 長野縣平民
淺野兼助 茨城縣平民
奈良眞三郎 岡山縣平民
清水眞三郎 島根縣平民
赤羽雄 茨城縣平民
魚住影雄 兵庫縣平民
津島元一郎 富山縣平民
鈴木寅彥 福島縣士族
鈴木源吉 栃木縣平民
野間佐吉 千葉縣平民
大和孫作 石川縣平民

坂田弘 千葉縣平民
衛藤新一郎 大分縣平民
飯島松次郎 山梨縣平民
松本浦太 愛媛縣平民
原田高彥 福岡縣平民
谷熊太郎 東京府士族
竹花新 長野縣平民
松田武五郎 鹿兒島縣士族
山田竹彥 東京府平民
梅津武雄 宮城縣士族
杉村信臣 東京府士族
中嶋崔 愛知縣士族
關口眞靜 東京府士族
大內文仲 埼玉縣平民

楠山又助 和歌山縣平民
宮里熊五郎 鹿兒島縣士族
小澤春雄 東京府平民

金井豊七 山梨縣平民
黑澤文七 宮城縣平民
山木孝介 東京府士族

露語學科第二年級

照井太三郎 山形縣平民
市川謙三 東京府士族
奥野幸吉 兵庫縣士族
大西理平 愛媛縣平民

村上常郎 宮城縣士族
松平忠敬 東京府士族
干沖漢造 清國人

大富部昇 靜岡縣平民
塚本道遠 福岡縣士族
田中孫六 東京府士族

仝 第一年級

澤木富次郎 東京府士族
鹽尻級長雄 岡山縣士族
清水金藏 長野縣平民

金田又治 東京府平民
黑澤貞次 宮城縣士族
小出壽造 東京府平民

平松定秀 東京府士族
大島寬一郎 愛知縣平民
海野敎壽 福島縣平民

山本眞太郎 靜岡縣士族
松井英一郎 岐阜縣士族
劉雨田 東京府平民

島谷直治 長崎縣平民
神尾謙吉 長野縣士族
後藤正一 東京府士族
三宅福馬 高知縣平民
堀竹雄 東京府平民
榎原延吉 東京府士族
北崎亭次郎 福岡縣平民

瀧野元治 靜岡縣士族
杉彥二 東京府士族
秦怨夫 高知縣平民
高澤鴻 茨城縣士族
鳥居博 福島縣士族
山路虎之助 東京府士族
水野比呂文 愛知縣士族

杉山春巳 宮崎縣士族
安岡晴見 高知縣士族
佐羽內又吉 岩手縣士族
町田英二郎 東京府平民
古賀一雄 廣島縣平民

伊語學科第二年級

嘗野眞 宮城縣士族

西語學科第二年級

古川大斧 佐賀縣平民
齋藤惣吉 山口縣平民

萩原秀次郎 東京府平民

依田光二 熊本縣士族

仝　第一年級

桑原　延壽　熊本縣　士族
佐々木　勉　宮城縣　士族

岡本正方　東京府　士族
宗村雷太郎　大分縣　平民

石井佐助　福島縣　平民
都留昭　大分縣　平民

清語學科第二年級

北村一郎太　長崎縣　士族
菅沼佐喜男　三重縣　平民
須賀幸太郎　群馬縣　平民
古谷鐵之助　東京府　平民
宮越健太郎　新潟縣　平民

淺井周治　愛媛縣　士族
奥田猛　兵庫縣　士族
仲西次郎　福岡縣　平民
千葉龜雄　宮城縣　平民
小池英次　福島縣　士族

吉田與三郎　滋賀縣　平民
芳野五郎　東京府　士族
中川四郎　愛媛縣　平民
山田茂三郎　富山縣　平民

仝　第一年級

小畠貞次郎　千葉縣　士族
松山孝太郎　愛知縣　士族
森好造　香川縣　平民
三田村甚十郎　福井縣　平民
星野桂吾　新潟縣　平民
岸本錄三郎　東京府　平民
角岡安太郎　兵庫縣　平民
伊東四郎　東京府　士族
富山傳助　埼玉縣　平民
野添邦憲　滋賀縣　平民
茂利重太郎　富山縣　平民
佐藤知恭　新潟縣　士族
椎野榮一　新潟縣　平民
山川友治　山形縣　平民

今逸郎　青森縣　士族
武重雄作　佐賀縣　士族
入澤豐　東京府　平民
柴田乙次郎　東京府　士族
前田茂三郎　岡山縣　士族
後藤基康　埼玉縣　平民
只野重次郎　宮城縣　士族
谷口英次郎　愛媛縣　平民
門馬康　宮崎縣　士族
勝部幸之助　島根縣　平民
志鷹憲清　富山縣　平民
千葉郁治　宮城縣　平民
金田雄次　靜岡縣　士族
井田孝平　東京府　士族
北畠照松　東京府　平民

土谷彌三郎　大阪府　平民
清水知　愛知縣　士族
中島策郎　大分縣　平民
川浪實雄　佐賀縣　士族
後藤忠次　茨城縣　平民
只野重次郎　宮城縣　士族
谷口英次郎　愛媛縣　平民
門馬康　宮崎縣　士族
勝部幸之助　島根縣　平民
志鷹憲清　富山縣　平民
千葉郁治　宮城縣　平民
金田雄次　靜岡縣　士族
井田孝平　東京府　士族
北畠照松　東京府　平民

別科生　西語學科第一年級　清語學科第二一年級

本校生徒年齢表

科別		第三年級	第二年級	第一年級
本科	最高	三一、〇九月	一九、〇四月	二三、〇六月
	最低			
	平均			
別科	第二年級			
	第一年級			

大江久太郎	香川縣平民	關口儀助	埼玉縣平民
古尾谷馨二	秋田縣平民	地家精	山口縣士族
鈴木仁四郎	栃木縣平民	高橋忠松	北海道平民
山田英二	福井縣平民	本間與三郎	山形縣平民
市川博	三重縣平民	穂苅信乃	長野縣平民
矢部長	福島縣平民	東條愛次	香川縣平民
角田松次郎	群馬縣平民	籃川芳五郎	東京府平民
蜷川親忠	福井縣士族	稻田法瑞	兵庫縣平民
稻並幸吉	北海道平民	小田網太郎	兵庫縣士族
喜多川三鬼雄	東京府士族	半田重太郎	東京府平民

北村直太郎	長野縣平民	高橋享	新潟縣平民
卯之木晋一郎	千葉縣平民	藍川小太郎	東京府平民
富田豊	栃木縣士族	加唐謙吉	東京府士族
石高令太	新潟縣平民	神谷薫	北海道士族
長澤貞	栃木縣士族		

本校卒業生及其就職ノ場所

明治三十三年七月第一回本科卒業生

英語學科

（十八人）

片山寛	長野縣士族	高等師範學校教授	
星野幹	東京府平民	第五臨時教員養成所講所	
松浦與三	福井縣平民	東京帝國大學文科大學撰科生	
渡邊謙二	三重縣士族	東京府第二中學校教授屬託	
芹澤政衛	靜岡縣平民	名古屋商業學校教諭	
森川乙猪	高知縣士族	福岡縣師範學校教諭	
高野圭一	茨城縣平民	大阪八尾中學校教諭	
奥坂角太郎	德島縣士族	群馬縣藤岡中學校教諭	
餘三郎	石川縣平民	山口縣山口中學校教諭	
長	東京府平民	石川縣七尾中學校教諭	
星野政吉		新潟縣村上中學校教諭	

本校卒業生及其就職ノ場所　第一回本科卒業生

佛語學科（三人）

東京外國語學校助教授　瀧村立太郎　東京府士族
ニユカレドニア、スプーイ採白銅會社員　宮崎幹太郎　大阪府士族
大阪市明星學校教師　二宮猪象　香川縣平民

獨語學科（七人）

東京外國語學校助教授　田代光雄　東京府士族
學習院講師　安樂直治　鹿兒島縣士族
東京府第一中學校教諭　弓削久兵衛　千葉縣平民
外務屬　上村哲三　鹿兒嶋縣士族
死亡　久野英一　愛媛縣士族
死亡　中村達雄　山口縣士族
內閣屬　井手岩吉　佐賀縣士族

露語學科（六人）

露國公使館在勤　鈴木尚三　東京府平民
露領サガレン島カルサコフ日本領事館在勤　山口爲太郎　愛知縣平民
露國留學中　古澤幸吉　北海道士族
陸軍通譯（北京在勤）　秋元義親　東京府士族

第二師團講師　田中乙　福井縣士族

日本郵船會社員　簾藤三平　埼玉縣平民

西語學科（三人）

名古屋市伊東支店詰　伊東信一　愛知縣士族
厚見元治　兵庫縣平民
東京外國語學校助教授　金澤一郎　兵庫縣士族

清語學科（九人）

東京外國語學校助教授　岡本正文　愛媛縣士族
貯藏銀行北京支店長　上田三德　東京府平民
死亡　齋藤勝治　佐賀縣平民
死亡　寺本寅彥　熊本縣平民
天津西沽都統衙門在勤　佐藤新太郎　山形縣士族
天津西沽都統衙門在勤　河崎武　熊本縣士族
外務屬　宮內元　千葉縣士族
第七師團講師　滿永鐵太　熊本縣平民
島田翰　東京府士族

本校卒業生及其就職ノ場所

外務屬　山口有信（愛知縣平民）
東京外國語學校助教授　本田存（東京府士族）

明治三十四年七月第二回本科卒業生

英語學科（十一人）

東京外國語學校助教授　上條辰藏（長野縣平民）
大阪商品陳列所詰　青柳幹一（山梨縣平民）
正金銀行香港支店在勤　中園修吾（神奈川縣平民）
本校研究生　古賀十二郎（長崎縣平民）
滋賀縣第二中學校教諭　隈川豊（東京府平民）
兵庫縣小野中學校教諭　高橋行次（滋賀縣士族）
臺北測候所在勤　重嶺一祐（山口縣士族）
新潟縣佐渡中學校教諭　尾上瀧太郎（福岡縣平民）
新潟縣新發田中學校教諭　高岡讓（和歌山縣平民）
在クイスランド移民監督　齋藤千之（兵庫縣士族）
一年志願兵　平井隼之助（大阪府平民）
長崎縣中學玖島學舘教諭　伴野八郎（兵庫縣平民）

佛語學科（九人）

尾花繁太郎（鹽島縣平民）
在韓國仁川日本領事舘在勤　成島朝一（靜岡縣士族）

自家營業　武村元藏（東京府士族）
一年志願兵　平岡七郎（靜岡縣士族）
加藤秀鄉（三重縣平民）
要塞砲兵射撃學校講師　兒玉彌彥（鹿兒島縣士族）

獨語學科（五人）

第五高等學校助教授　太田爲治（京都府士族）
第五高等學校助教授　磯山健（茨城縣士族）
名古屋地方幼年學校教授　原村五郎（東京府平民）
內閣屬　巖谷春生（滋賀縣士族）
農商務屬　松本俊造（千葉縣士族）
一年志願兵　鶴來和之（東京府平民）

露語學科（十人）

陸軍大學校囑託教授　井田孝平（東京府士族）
長崎三井物產會社支店詰　長谷川作次（石川縣平民）
清國旅順口三井物產會社支店詰　飯田愿（宮城縣平民）
第十一師團講師　佐々木常三郎（宮城縣平民）
第十一師團講師　丸勝藏（千葉縣平民）
東京外國語學校助教授　五十嵐清（岡山縣士族）
富山遠洋漁業會社員　鈴木覺太郎（宮崎縣平民）
本校卒業生及其就職ノ場所　第二回本科卒業生　河村國松（岐阜縣平民）

凱旋丸事務長　島田嘉一郎　埼玉縣平民
長崎北方石炭商店員　菅野金三郎　佐賀縣士族

西語學科（五人）

大藏屬　平松輝太郎　三重縣士族
桑原眞義　熊本縣平民
農商務省海外派遣實業練習生在（メキシコ）　森醇一　佐賀縣士族

清語學科（十一人）

正金銀行清國北京支店詰　古賀邦彥　佐賀縣士族
清國漫遊中　岩原大三郎　東京府士族
糟谷好助　埼玉縣平民
自家營業　船橋甚兵衛　兵庫縣平民
同文書院及專門學校講師　池田良榮　高知縣士族

騎兵旅團講師　和泉良之助　茨城縣平民
第七師團講師　近藤賓五郎　神奈川縣平民

農商務省海外派遣實業練習生在（ペリュー）　松本賢吉　高知縣士族
農商務省海外派遣實業練習生　丸井三次郎　和歌山縣平民

死亡　曾谷健吾　廣島縣平民
正金銀行清國北京支店詰　永野武馬　長崎縣平民
京釜鐵道會社京城支店詰　阿部生居造　群馬縣士族
在清國上海　蔭山石五郎　德島縣士族
富山縣富山商業學校教諭　奧津銀平　群馬縣士族

在清國天津日本郵便電信局在勤　青柳義作　新潟縣平民

韓語學科（四人）

韓國京城明洞三井物產會社支店詰　天野雄之輔　滋賀縣士族
江崎精一　愛知縣平民

一年志願兵　加藤勝之助　愛知縣平民
西田禎一　大分縣士族

明治三十五年七月第三回本科卒業生

英語學科（十九人）

京都府第一中學校教諭　大橋榮三　東京府平民
東京外國語學校助教授　宮崎議平　北海道平民
靜岡縣豐陽中學校教諭　山本英造　東京府平民
滋賀縣第二中學校教諭　伊藤常重郎　三重縣平民
愛媛縣宇和島中學校教諭　伊藤正胤　高知縣士族
鳥取縣第一中學校教諭　桂田次郎　島根縣士族

三井物產社員（在濠洲シドニー）　關善八　熊本縣平民
新潟縣長岡中學校教諭　御子柴賴一　長野縣平民
福岡縣豐津中學校教諭　淵上巖　福岡縣士族
東京帝國大學法科大學撰科生　小野清一　東京府士族
福島縣安積中學校教諭　野田久三郎　大阪府平民
湯淺實　東京府士族

本校研究生　鈴木利貞（鳥取縣平民）
三井物產會社員　奥村勢一（佐賀縣士族）
大分縣大分中學校敎諭　秋元正四（東京府士族）
廣島縣福山中學校敎諭　野口兼太郎（東京府士族）

佛語語科（十七人）

遞信屬　中川豆介（福井縣士族）
石谷貴矩（三重縣平民）
若林耿介（茨城縣士族）
在佛領東京河南　淺野千里（長野縣平民）
遞信屬　佐藤武則（長野縣士族）
三井物產會社員　西山德太郎（東京府士族）
横濱正金銀行里昂支店在勤　小田精吉（東京府士族）
守經雄（東京府平民）

廣島縣私立明道中學校敎師　村岡壽春（鳥取縣平民）
島根縣第一中學校敎諭　並河昭廣（滋賀縣士族）
横濱正金銀行員　宮島孫三郎（長野縣平民）

東京帝國大學文科大學撰科生　高本利雄（沖繩縣士族）
三井物產會社員　小島文八（靜岡縣士族）
矢橋春造（京都府士族）
笈田敏野（福井縣平民）
吉田衡（福井縣士族）
京都帝國大學選科生　高木正次（千葉縣士族）
松島榮（靜岡縣士族）
井上爾二郎（東京府士族）

塩山要正（東京府平民）

獨語學科（九人）

第七高等學校造士館助教授　堀田正次（宮城縣士族）
三井物產會社々員　丹羽弘（愛知縣平民）
日本銀行員　山本開作（神奈川縣平民）
芦塚利仲（長崎縣平民）
笠原正樹（長野縣平民）

露語學科（七人）

日本郵船會社員　股野貫之（兵庫縣平民）
陸軍參謀本部員　久綱小治郎（愛知縣平民）
市川寅次郎（福岡縣士族）
平塚若麿（茨城縣士族）

青山民子雄（東京府華族）
齋木延次郎（廣島縣士族）
井門荒三郎（熊本縣士族）
田中正之（東京府士族）

長崎原田商店員　竹內秀三（長崎縣士族）
在露國外務省留學生　村田乙三郎（東京府士族）
クンスト及アルベルス商會員　池田鏸太郎（大分縣士族）

伊語學科（四人）

財團法人大橋圖書館員	粟田三吾 東京府士族	帝國圖書館員	小林武麿 東京府士族
横濱生糸撿査所々員	宇野鐵二 愛知縣士族	本校研究生	永井義麿 神奈川縣平民

西語學科（六人）

大阪商船會社員	波佐谷慶發 北海道平民		岡田庫次 岐阜縣平民
三井物産會社マニラ出張所在勤	竹下末吉 島根縣平民		四枝綱吉 鹿兒島縣士族
コンパニーア、ヘ子ラル、デ、ダバコス、デ、フイリツピイナ 神戸支店員	南喬一 兵庫縣平民		渡邊三彦 栃木縣平民

清語學科（八人）

日本銀行員	増井茂松 三重縣平民	正金銀行員	松村孫一 埼玉縣平民
貯藏銀行員	石垣光義 東京府士族	在清國北京	林要五郎 北海道平民

大阪商船會社員	大部八洲夫 茨城縣平民	本校佛語學科本科生	堀田延千代 大阪府平民
大阪商船會社員	高鳥長治 福井縣士族	在清國保定府	松本士農夫 福井縣士族

韓語學科（九人）

本校研究生	山本恒太郎 東京府士族		秋吉英三 東京府士族
本校露語學科本科生	木下蕃 福井縣平民		國方章二 香川縣士族
	多田謙三 長野縣平民		樫村武雄 茨城縣士族
	福原資孝 栃木縣平民		小野雄志 岡山縣平民
本校研究生	伊東四郎 東京府士族		

明治三十五年七月選科修了生

韓語學科

井上安次郎 京都府平民	

本校別科修了生

明治三十二年七月第一回別科修了生

英語學科（十二人）

高橋行次	士族	滋賀縣
野一色千七郎	士族	靜岡縣
黒川善一	士族	東京府
岡田明達	士族	愛知縣
大西成太	平民	香川縣
黒田茂次郎	士族	長崎縣
三宅貞齋	平民	東京府
園田辰三郎	士族	東京府
小山英吾	士族	東京府
小山市太郎	士族	東京府
松下專吉	士族	靜岡縣
浦壁長富	士族	東京府

佛語學科（九人）

服部邦光	士族	長崎縣
歸山信順	士族	石川縣

獨語學科（六人）

宮城大太郎	士族	千葉縣
大野若三郎	平民	神奈川縣
山內健吉	平民	岐阜縣
金光泰	平民	大分縣
新原俊秀	士族	宮崎縣
鈴木彌次平	平民	靜岡縣
松原常次郎	平民	東京府

露語學科（三人）

幸田成友	士族	東京府
松岡定	士族	熊本縣
中村平作	平民	新潟縣
宮田義敬	士族	東京府
澤田鉌義	士族	神奈川縣
田崎復	平民	東京府

西語學科（二人）

澤井才治	平民	新潟縣
田中與五郎	平民	大阪府

明治三十三年七月第二回別科修了生

英語學科（六人）

田中虎雄	埼玉縣士族	
的場悌	和歌山縣士族	
高比良勝二	長崎縣平民	

佛語學科（三人）

大高隼太郎	東京府士族	
中川源三郎	京都府士族	
鳥越盛	佐賀縣士族	

清語學科（五人）

津田弘季	岡山縣士族	
日高賢吉郎	長崎縣士族	
小川連平	埼玉縣平民	
鎌田彌助	鹿兒島縣士族	
渡邊清	東京府士族	
加納政太郎	東京府平民	
泉水信太郎	千葉縣平民	
坂野竹之助	茨城縣平民	

露語學科（三人）

岡部重一郎	東京府士族	
佐伯迅二郎	和歌山縣士族	
松尾長之助	佐賀縣平民	

獨語學科（九人）

今福忍	神奈川縣平民	
杉山正治	東京府士族	
堀常次郎	岐阜縣平民	
中島松次郎	茨城縣平民	
德永昌美	東京府士族	
神谷龍彥	愛知縣士族	
井出哲	東京府士族	
吉田六之助	千葉縣平民	
岩崎半次	茨城縣平民	
山田又市	新潟縣平民	
歌原兼良	愛媛縣士族	
磯野清助	東京府平民	

明治三十四年七月第三回別科修了生

西語學科（一人）

堀口福彦　士　岡山縣　族

清語學科（七人）

田中慶太郎　平　京都府　民
中島比多吉　平　埼玉縣　民
佐藤長次郎　士　埼玉縣　族
福崎三次郎　士　鹿兒島縣　族

英語學科（五人）

綿織房之助　士　宮城縣　族

高岩勘次郎　平　福岡縣　民
龜山玄明　平　岐阜縣　民
大久保家道　士　東京府　族
香川敦太郎　士　愛媛縣　族

佛語學科（三人）

松井英一郎　士　岐阜縣　族
枝正八　士　茨城縣　族

三戸賴猷　士　山口縣　族
上條辰藏　平　長野縣　民

獨語學科（八人）

酒井政吉　平　石川縣　民
乙竹岩造　士　三重縣　族
福井久造　平　兵庫縣　民
川島庄一郎　平　和歌山縣　民

久保清太郎　士　德島縣　族

德岡梅吉　平　鳥取縣　民

新海吉兵衛　平　長野縣　民
上田長藏　平　京都府　民
可兒德　士　岐阜縣　族
片山外與作　士　東京府　族

露語學科（二人）

長野豊彦 士大分縣族

伊語學科

（一人）

平松幾比古 士和歌山縣族

西語學料

（一人）

鈴木三郎 士千葉縣族

清語學料

（十七人）

皆川秀孝 平茨城縣民
大橋末彦 士東京府族
高比良勝二 平長崎縣民
菊池三九郎 平東京府民
岸峯治郎 平鳥取縣民
小澤銀十郎 士長野縣族
關菊麿 平京都府民
成田文太夫 士宮城縣族
酒井恒矢 士山形縣族

岡田驅 士長野縣族
太田繁 士東京府族
菊川龜次郎 士熊本縣族
白藤芳夫 平東京府民
稻澤珍三郎 士宮崎縣族
唐澤祐慶 士東京府族
中田金次郎 士東京府族
大久保宜家 士東京府族
村上久吉 平東京府民

韓語學科

（一人）

井上安次郎 平京都府民

明治三十五年七月第四回別科修了生

英語學科

（十六人）

伊東猷密 士福島縣族
內藤明延 平東京府民
山崎正身 士高知縣族
宮定平 平廣島縣民
古谷鐵之助 平東京府民
西村惠治郎 士滋賀縣族

星野鏡造　士族　東京府
山中寛次郎　士族　滋賀縣
與謝野修　士族　京都府
多羅間政輔　士族　山口縣
君塚一　士族　東京府

佛語學科

（十四人）

田村保三　平民　千葉縣
山下安太郎　平民　埼玉縣
淺井義暢　士族　愛知縣
岡田武松　平民　千葉縣
白井傳三郎　平民　長野縣
高岩勘次郎　平民　福岡縣
寺島成信　士族　山形縣

加賀川市松　平民　兵庫縣
野本彌生八　平民　和歌山縣
野田爲太郎　士族　鳥取縣
秋山運四郎　平民　宮城縣
鈴木孫太郎　平民　靜岡縣

有吉秀太　平民　山口縣
齋藤久孝　士族　兵庫縣
關次郎　士族　長野縣
鹿野岩次郎　平民　石川縣
佐藤純太郎　士族　石川縣
三谷氏郎　士族　香川縣
阿部景毅　士族　宮城縣

獨語學科

（十五人）

久保田敬一　平民　兵庫縣
工藤武城　平民　熊本縣
中島田人　士族　北海道
高橋祐治　平民　大阪府
毛利祐吉　士族　石川縣
篠田良二　平民　長野縣
菊池房三郎　平民　大分縣
折原吉之助　士族　東京府

樋口兼治　平民　東京府
伊藤弘一　平民　千葉縣
中條道次郎　士族　千葉縣
平木安之助　平民　福岡縣
中柴鐐三郎　士族　東京府
高橋鐘二　士族　長野縣
堀與三　平民　三重縣

露語學科

（五人）

軍地五郎　士族　茨城縣
大倉勳夫　平民　山形縣
稻澤珍三郎　士族　宮崎縣

久保田兵一　士族　北海道
木下蕃　平民　福井縣

伊語學科（一人）

森田鐵三郎	平	新潟縣民

清語學科（十一人）

宅野潔	士	山口縣士族	
桑原壽一	士	山口縣士族	
赤澤宇之助	平	鹿兒島縣民	
田中政吉	平	兵庫縣民	
兒玉純	士	鹿兒島縣士族	
秋吉英三	士	東京府士族	
黒澤兼次郎	平	富山縣民	
松井英一郎	士	岐阜縣士族	
菊池崇	士	茨城縣士族	
村田鐵三郎	平	愛媛縣民	
遠藤三藏	平	兵庫縣民	

別科生徒職業區分表

種別	人員
官廳員及公吏	陸海軍々人 三一
	各種學校教員 一八
九七	
辯護士	二
醫師及藥劑師	三九
神職僧侶及宣教師	六
銀行會社員	四九
公私立團體職員	二
自家營業	二五
中學校教員	一七
小學校教員	二九
新聞記者及著作者	一二
官立學校卒業生及學生々徒	五八
公私立學校生徒	八四
本校本科生徒	一四
本校別科兼修生徒	五
陸地測量部委託生	七
合計	四九五

明治三十五年七月卒業式ニ於ケル演說祝詞等

校長報告

文部大臣外國公使閣下並來賓諸君茲ニ本日ヲトシ東京外國語學校ノ第三回卒業式ヲ擧行スルニ方リ閣下及諸君ノ來臨ヲ辱ウシタルハ本職及校員一同ノ光榮トスル所ナリ

本校創設ニ係ル來歷等ハ略シテ茲ニ述ベズ唯現在ニ於ケル教師及生徒ノ數ト卒

業生徒ノ數ヲ報告スルト同時ニ本學年間ニ於テ實施セル改正規則ノ大要ヲ陳ベントス

本學年末ニ於ケル教師ノ數ハ教授拾參名外國教師拾壹名助教授八名講師拾五名計四拾七名ニシテ生徒ノ數ハ本科ニ於テ英、佛、獨、露、伊、西、清、韓ノ八語學科各學年ヲ通シテ三百八名其他別科ニ於テ二百三拾四名總計五百四十二名ナリ

此中ヨリ今回卒業セルモノハ本科ニ於テ七拾九名之ヲ本校第三回ノ本科卒業生トス又別科ノ修了生ヲ出スハ今回ヲ以テ第四回トス其數六十二名ナリ

本校第一回第二回卒業生ノ就職別ハ教員三十九名内高等師範學校講師一名高等學校助教授二名陸軍教授及講師九名中學校教員一名本校助教授七名會社員八名銀行員三名官吏拾二名自家營業二名文科大學撰科生一名一年志願兵三名外國ニ在ルモノ拾八名内官吏三名會社員五名銀行員一名農商務省派遣實業練習生四名學術研究ノ爲メ渡航中ノ者五名無職業ノ者四名死亡者四名ナリ又別科在學生ノ職業別ハ官吏、公吏、陸海軍々人、各種學校教員、辨護士、醫師、藥劑士、神職、僧侶、及宣教師、銀行會社員、公私立團体職員、自家營業、新聞記者及著作者、學生、陸地測量部委託生等概ネ職ヲ有スルモノナリ

本校ハ創設以來僅ニ五年ノ短日月ナルヲ以テ百般ノ施設未タ完全セスト雖モ將來益改良ヲ加ヘ校務ヲ擴張シ社會ノ必需ニ應シ希望ニ副ヘンコトヲ期シ入學ニ關スル件及學課ノ配置委託生研究生及選科生ニ關スル改正規程ヲモ實行シ且從來所設ノ副科ニ國語漢文及言語學科ヲ加ヘ又各語學科ヲ通シテ副科語學ヲ增設シ以テ必修科ト爲シタル爲メ向後ノ本校卒業生ハ少クトモ二外國語ヲ了解スルニ至ルベシ

以上ヲ以テ學事報告ノ概要トス尚ホ卒業生諸子ニ對シテハ告示ス可キ事項頗ル多ク且語學科ニヨリ其趣ヲ異ニスルガ故ニ昨、一昨ノ兩日ヲ以テ懇示スル所アリシニ依リ本日ハ別ニ告示セザルナリ

菊池文部大臣祝辭

近時世界ノ耳目ハ一ニ東亞ノ問題ニ傾注シ延イテ列國ノ趨勢ヲ一變セシメ極東ノ地今ヤ其競爭ノ要區トナリ我邦亦大國ノ一トシテ其伍伴ニ列スルニ至レリ今後政事ニ學術ニ通商ニ私交ニ事端ノ愈々益々滋カルヘキハ固ヨリ言ヲ竢タス此

時ニ當リテ彼我ノ意志ヲ疏通シ誤解ヲ防キ永ク國際ノ親交ヲ保チテ平和ヲ期セント欲セハ我ヨリ進ミテ彼ノ言語ニ精通シ彼ノ志想ヲ會得スルト同時ニ又我カ所思ヲシテ彼ニ徹底セシメンコト最モ必要ノ事トス是レ刻下外國語練習ノ忽ニスヘカラサル所以ナリ諸子ハ本校第三回卒業生トシテ出テヽ恰モ此ノ必要ノ時ニ會フ其前途ノ多望ナルト共ニ諸子カ責務モ亦一段ノ重キヲ加フルモノト謂フヘシ本校教養ノ宜キト諸子カ多年研學ノ効果トハ必スヤ諸子ヲシテ此ノ間ニ處シテ單ニ語學ノ應用ニ於テ遺憾ナカラシムルノミナラス諸子カ性行亦能ク我カ國家ノ光輝ヲ發揚セラルヘキハ本大臣ノ固ク信シテ疑ハサル所ナリ一言希望ヲ述ヘテ諸子ノ卒業ヲ祝ス

本校卒業生總代謝辭

堀田正次(獨語演述)

來賓閣下特ニ外國語學校教職員諸彦生等今、本年ノ外國語學校卒業生トシテ此紀念スヘキ日ニ校長閣下ヨリ卒業證書ヲ拜受スルノ榮ヲ得ルニ方リ今日迄受ケ得タル懇切ナル教授薫陶ニ對シ校長閣下及諸先生ニ生等ノ深ク切ナル感謝ノ意ヲ陳フルナリ生等今ヤシルラー、ガ所謂

男兒出では、　戰闘の世に入らざるべからず、　事を擧け、
力を盡し、　播種し、
機智を用ひ、　勇氣を皷し、
敢て試み、　以て幸福を、
獲さるへからず、

トノ地位ニ立テリ諸先生ハ茲ニ生等ヲ其指南輔導ノ下ヨリ放チテ孤立獨歩ノ便ナキ身トナラシム誠ニ將來幾多困難ナル重任ハ生等ノ覺束ナキ獨立ヲ危ウセントスルモノアラン然レトモ生等ハ尚安ンシテ人生ノ戰闘ニ從事シ得ヘシ何トナレハ、生等カ今去ラントスル此學校ハ生等ヲ裝フニ比類ナキ特殊ノ武器ヲ以テシタレハナリ夫レ言語ハ人類ヲ禽獸ヨリ分ツ所以ノモノニシテ此物ヤ人類ノ有ラユル進歩ノ跡ヲ留メ文化唯一ノ保障ニシテ全人類ヲ羅シテ一ノ大ナル同胞トナスモノナリ是ヲ以テ何人ヲ問ハス一二ノ外國語ヲ能クスルモノハ此人類社會ノ有要ナル一員トナリ得ヘキナリ故ニ生等ハ倦マス厭カズ教導ノ勞ヲ取ラレタル諸先生並ニ父ノ如キ心ヲ以テ其全体ヲ統一セラルヽ校長閣下ニ滿腔ノ謝意ヲ致シ生等ノ心ニ播種セラレタル種子ヨリ見事ナル果ヲ擧ケンコトヲ言明シ謹テ校

長閣下及諸先生ガ末長ク充分ナル鋭氣ト健康トヲ以テ吾校ノ爲メ及吾國ノ爲メ其重任ニ盡瘁セラレンコトヲ希望シテ止マザルナリ

栗田三吾(伊語演述)

同

茲ニ本日ヲトシ本校第三回卒業證書授與ノ盛典ヲ擧ゲラルヽニ方リ文部大臣閣下並ニ朝野貴紳ノ光臨ヲ辱ウセシハ生等ノ深ク光榮トスル所ナリ校長閣下生等本日此ノ盛式ニ列スルヲ得テ怡悦ノ情ニ堪エズト雖モ三年ノ久シキ間懇切耐忍生等ヲ薫陶指導セラレタル校長閣下及教授諸賢ノ功勞ノ頗ル大ナルヲ追想セバ衷心悲哀ノ感ヲ生ゼザランヿ欲スルモ得ベカラザルナリ蓋シ此ノ功勞タル生等ヲシテ今日ノ榮譽ヲ得セシメタル要素ニシテ生等ノ深ク肝ニ銘シテ寸時モ忘ルベカラザルモノナリ是ヲ以テ生等ハ山ヨリモ重キ校長閣下及教授諸賢ノ浩恩ヲ思ヒ本日學年ノ終期ニ臨ミ生等當然ノ義務トシテ生等ノ胸中ニ充滿スル感謝ノ至情ヲ吐露シ併セテ校長閣下及教授諸賢ノ建康ト幸福ヲ祈ルヤ切ナリ生等ハ本日ノ榮譽ニ答フル所アランガ爲メ自今益々所修ノ語學ヲ研磨シ之ヲ實地ニ活用シテ以テ國家ノ文運ヲ稗補シ併セテ國利ヲ增進センコトヲ期ス生等固ヨリ學淺

クオ小ニシテ國家有用ノ器タルニ適セスト雖モ今ヤ我國ハ世界外交ノ焦點トナリ語學者ノ需要ヲ感スルコト頗ル急ナルノ時ニ當リ修得ノ語學ヲ以テ聊カ國家ノ爲メニ盡ス所アランカ是レ啻ニ生等ノ滿足タルノミナラズ亦校長閣下及教授諸賢ノ大ニ滿足セラルヽ所ナルヘシト信ズルナリ聊カ蕪辭ヲ述ブ

別科修了生總代謝辭

軍地五郎(露語演述)

校長閣下幷ニ教官諸賢茲ニ本日ヲ以テ別科修業證書授與式ヲ擧行セラル而シテ生等モ亦此盛式ニ列スルノ光榮ヲ辱ウス生等ノ幸何ゾ之ニ加ヘン是レ生等ノ紀念トシテ將來永ク忘ル能ハザル所ナリ

抑モ外國語修學ノ困難タル喋々ヲ要セズ然ルニ生等僅々二箇年ノ短日月ヲ以テ所定ノ課業ヲ終ルヿヲ得タルハ是レ偏ニ教官諸賢ノ熱心篤實ナル教導ニ依ルモノニシテ其芳恩謝スニ辭ナシ庶希ハ其所修ノ學業ヲ活用シ將來有爲ノ器ト爲リ以テ今日ニ謝セント欲スルノミ終ニ臨ミ校長閣下ノ質實ナル訓諭ヲ給ハリタルハ生等ノ銘肝シテ永ク忘ル能ハザル所ナリ校長閣下教官諸賢今ヤ生等本校ヲ辭スト雖モ前途甚ダ遠シ庶希ハ依然在校ノ時ノ如ク芳訓ヲ垂レ給ハレンコヲ

本科生徒府縣別表

（明治三十五年九月末日調）

區分	府縣	北海道	東京	京都	大阪	神奈川	兵庫	長崎	新潟
英語學科	三年級			一					
	二年級		五				一		一
	一年級		二		二		一	一	二
佛語學科	三年級		二						
	二年級		八		一	一	二	一	一
	一年級		二	一	一				
獨語學科	三年級		四				一		
	二年級		四			一			一
	一年級		四	二	一			一	二
露語學科	三年級		三						
	二年級	一	二			一			
	一年級	一	四		一		一	二	四
伊語學科	三年級								
	二年級		二						
	一年級		五	一	一				二
西語學科	三年級								
	二年級		一					一	二
	一年級		二			一	一		
清語學科	三年級		三			一			
	二年級		一						
	一年級		四		一	二	一	二	一
韓語學科	三年級							一	
	二年級		二						
	一年級		四	一			二		
計		二	六四	六	八	七	一〇	九	一六

區分	府縣	埼玉	群馬	千葉	茨城	栃木	奈良	三重	愛知	靜岡	山梨	滋賀	岐阜	長野
英語學科	三年級											一		一
	二年級		一				一			一				一
	一年級	一	二	一					一	一	一		一	
佛語學科	三年級				一				一					
	二年級		一		一					一	二		一	
	一年級	一			二	一			一	一				三
獨語學科	三年級			一						二				二
	二年級				一	一			二					
	一年級		一	一	一	一	一		二	一				
露語學科	三年級		一		一	一			二		三			一
	二年級		一		一	一								
	一年級	二	三		二			一	三	一				二
伊語學科	三年級													
	二年級							一						
	一年級				二			一			一	一		
西語學科	三年級													
	二年級				一	一		二	一					一
	一年級		一		二			一	一					一
清語學科	三年級							一		一				
	二年級		一			一		一		二	一			
	一年級			一	二	一			一	一	一			一
韓語學科	三年級				一									
	二年級													
	一年級	二			一	一			二	二				一
計		六	一三	四	一九	九	二	八	一七	一四	九	二	二	一三

本科生徒府縣別表

宮城	福島	岩手	青森	山形	秋田	福井	石川	富山	鳥取	島根	岡山	廣島
一			一							一		
						一				一		一
	二						一					
			一								一	
						一						
二		一	一		一	二	二				一	
							一	一			一	
一	二										二	
		一				三					一	三
						一						
					一		一					
		二				五		一		一		三
	一											
	二											
												一
												二
												一
						一						一
		一				一						
												二
						一						
一	一											
												二
						一						
												一
						一						
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

宮城	福島	岩手	青森	山形	秋田	福井	石川	富山	鳥取	島根	岡山	廣島
一			一							一		
						一				一		一
	二						一					
			一								一	
						一						
二		一	一		一	二	二				一	
							一	一			一	
一	二										二	
		一				三					一	三
						一						
					一		一					
		二				五		一		一		三
	一											
	二											
												一
												二
												一
						一						一
		一				一						
												二
						一						
一	一											
												二
						一						
												一
						一						
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

山口	和歌山	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	沖縄
二	一		一	一		一	一			一		
一	二			四	二	二	三		二		二	
	一								一		一	
						一						
二			二		四	一	一	一				
										一		
					一	一		一			一	
	二	一		一	一	一	一		一	一	二	
							一		三			
			一					一			三	
	一						一		一		一	
							一					
					一							
一												

別科生徒府縣別表

（明治二十五年九月末日調）

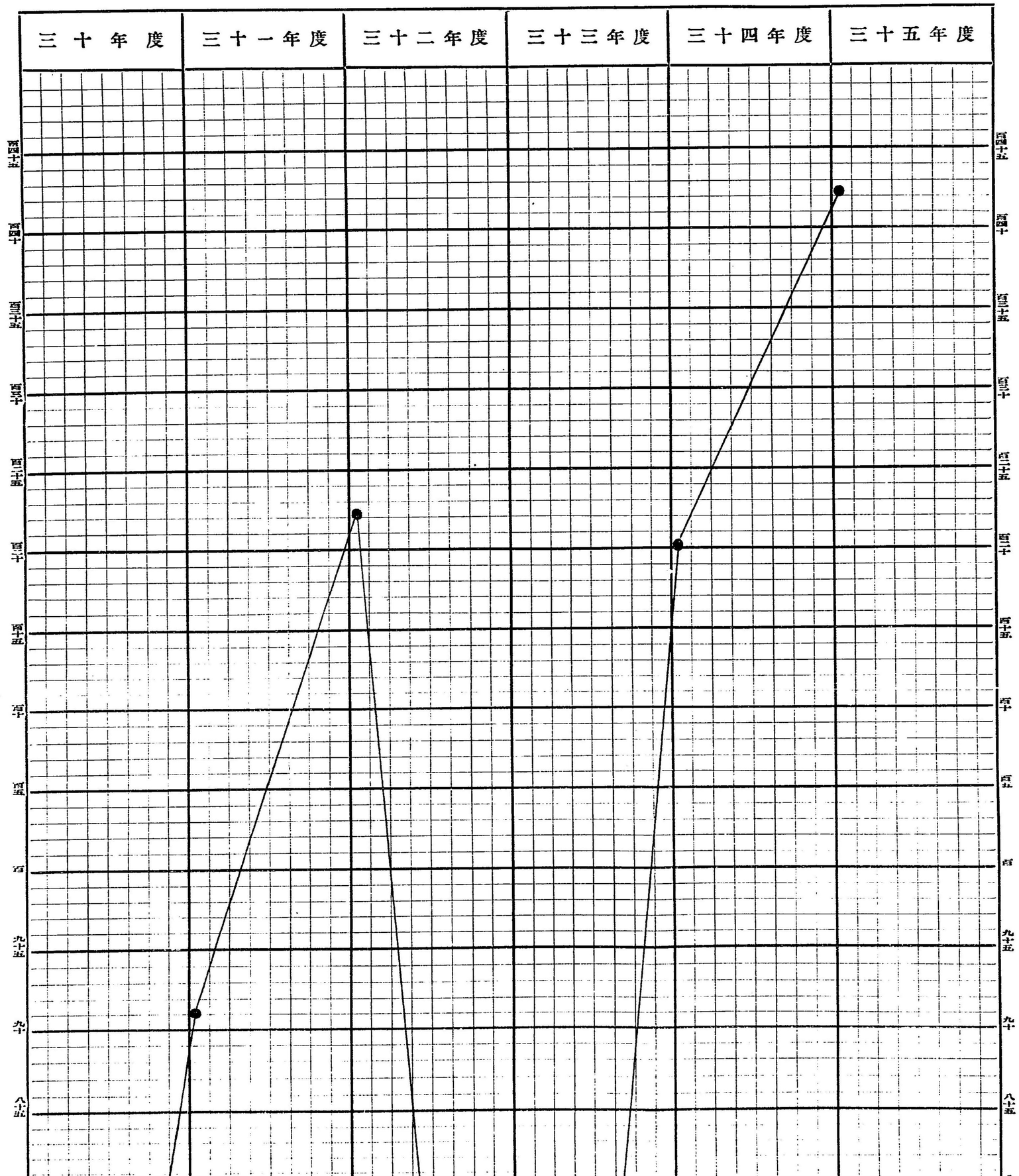
區分	府縣	英語學科 二年級	英語學科 一年級	佛語學科 二年級	佛語學科 一年級	獨語學科 二年級	獨語學科 一年級	露語學科 二年級	露語學科 一年級	伊語學科 二年級	伊語學科 一年級	西語學科 二年級	西語學科 一年級	清語學科 二年級	清語學科 一年級	韓語學科 二年級	韓語學科 一年級	計	合計	外國
	北海道						四								三			七	六三	
	東京	八	一四	三	二〇	六	三〇	四	九				一	二	一四			一一	三七	
	京都	一	二		二	一									一			六	九三	
	大阪						二											二	三四	
	神奈川		二		二	二	四								一			九	一四	
	兵庫		三			二	四	一						二	四			一八	二〇	
	長崎	二							一					一				五	三八	
	新潟		三	一	一	一	一〇								一五			二三	一七	
	埼玉		二		二	二	六								四			一四	一六	
	群馬			一			四							一	一一			一七	五〇	
	千葉	一	二		二	二	六							二	一三			一三	六二〇	
	茨城	一				一	四		一					一	九			九	一三三	
	栃木		一			一	二							三	七			七	九二〇	
	奈良																		三五	
	愛知				三	一	六		二					二	一四			一六	三四	
	三重		二		一	一	三							一	一二			一二	二九	
	静岡	二	三		一		五	一							一六			一六	四四六	
	山梨		一		一	一	四								七			七		
	滋賀						一							一	三			三		
	岐阜		一					一							三			三		

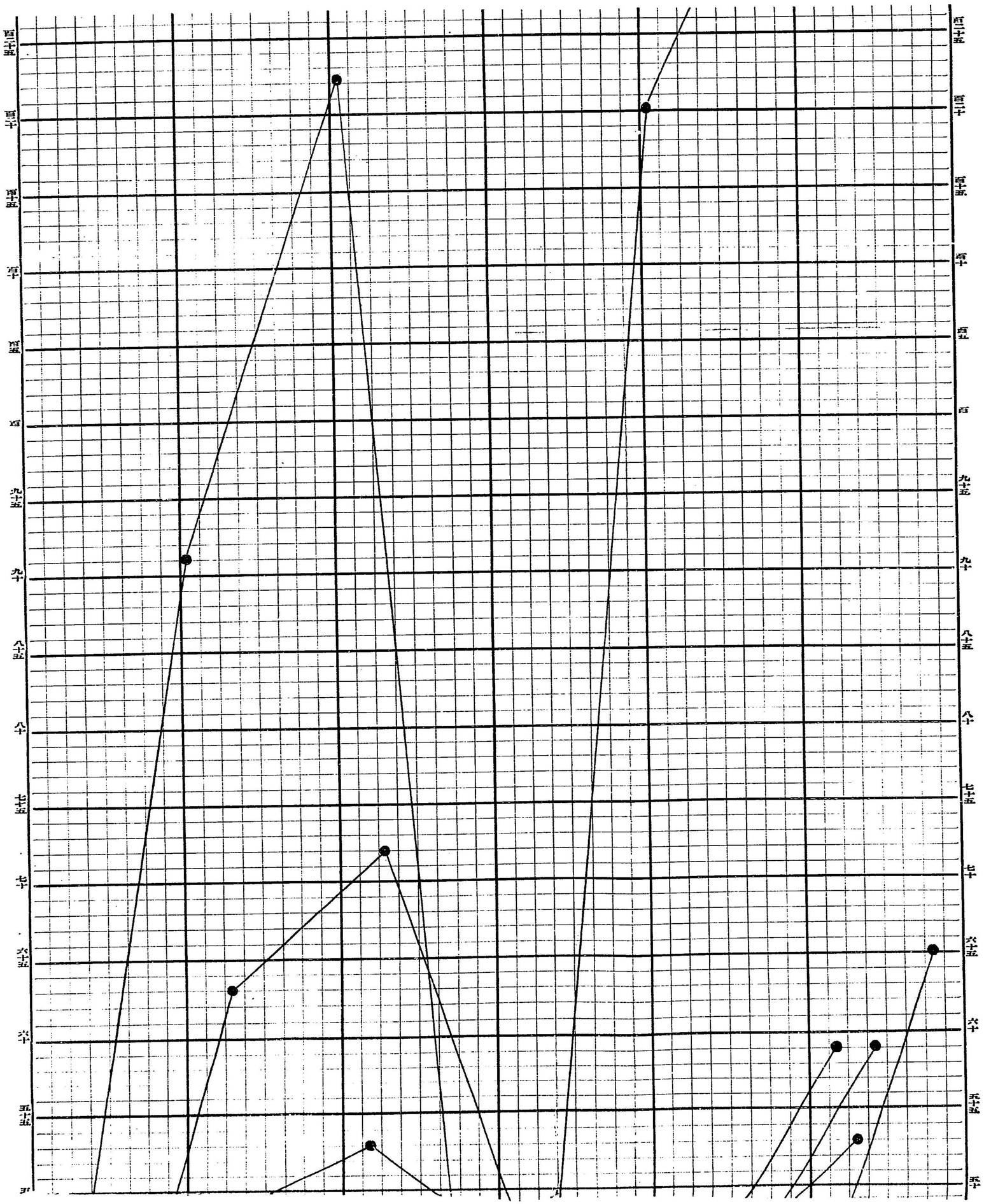
長野	宮城	福島	岩手	青森	山形	秋田	福井	石川	富山	鳥取	島根	岡山
一	二	一				一		一				一
二	二	一				一	一	一			一	一
	一									一		
三	一		一	一		一	一	一			一	五
一							二		一		一	二
一〇	六	三	一	三		二	四	二	三		五	三
	一				一							
二	一	二	一					一				一
	一											
	一	一										
	一	一							一		一	
二	二	一		一	二	一	三		二		一	一
二一	一九	一〇	三	五	三	六	一二	六	七	一	一〇	一四

廣島	山口	和歌山	德島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島
一	一											一
一	二	二			二	一	一	一				二
一	一					一						
	三	一		一		一		二	一			
一	三		一		一			一	一			二
一	八	一		一	二	二	二	二	一	一	三	六
					一							
一						三	一				一	
	一								一	一		
								二		一		
					二		一					
	一			三	一			一	二		二	
六	二〇	四	一	五	九	八	五	九	六	三	六	一二

沖縄	外國	合計
		二五
		五八
		一二
		六一
		三六
		一六
		六八
	一	二二
		二八
		一
		三
		六
		一六
		七一
		四九五
	一	

本校本科入學志願者入學生及卒業生累年比較表

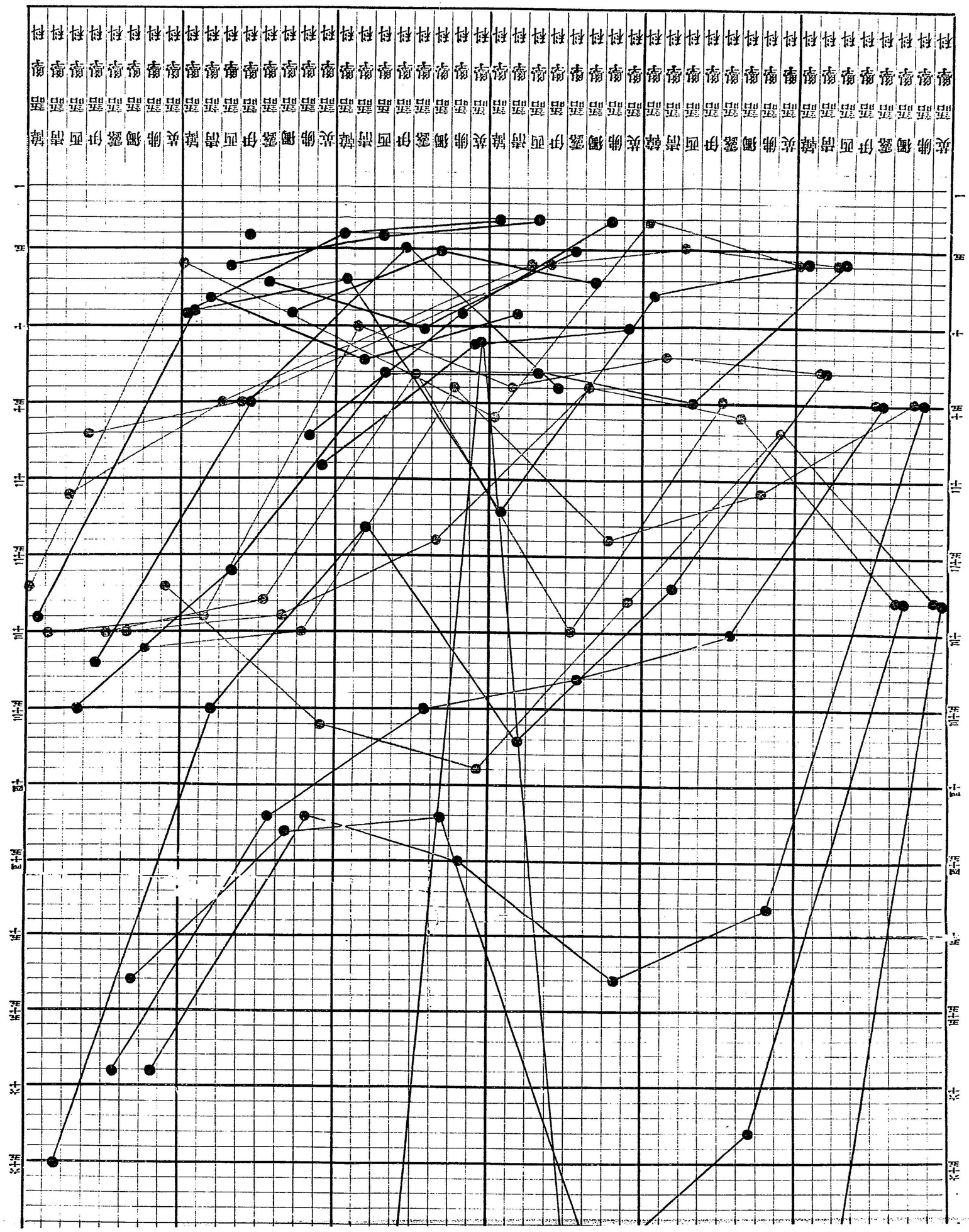




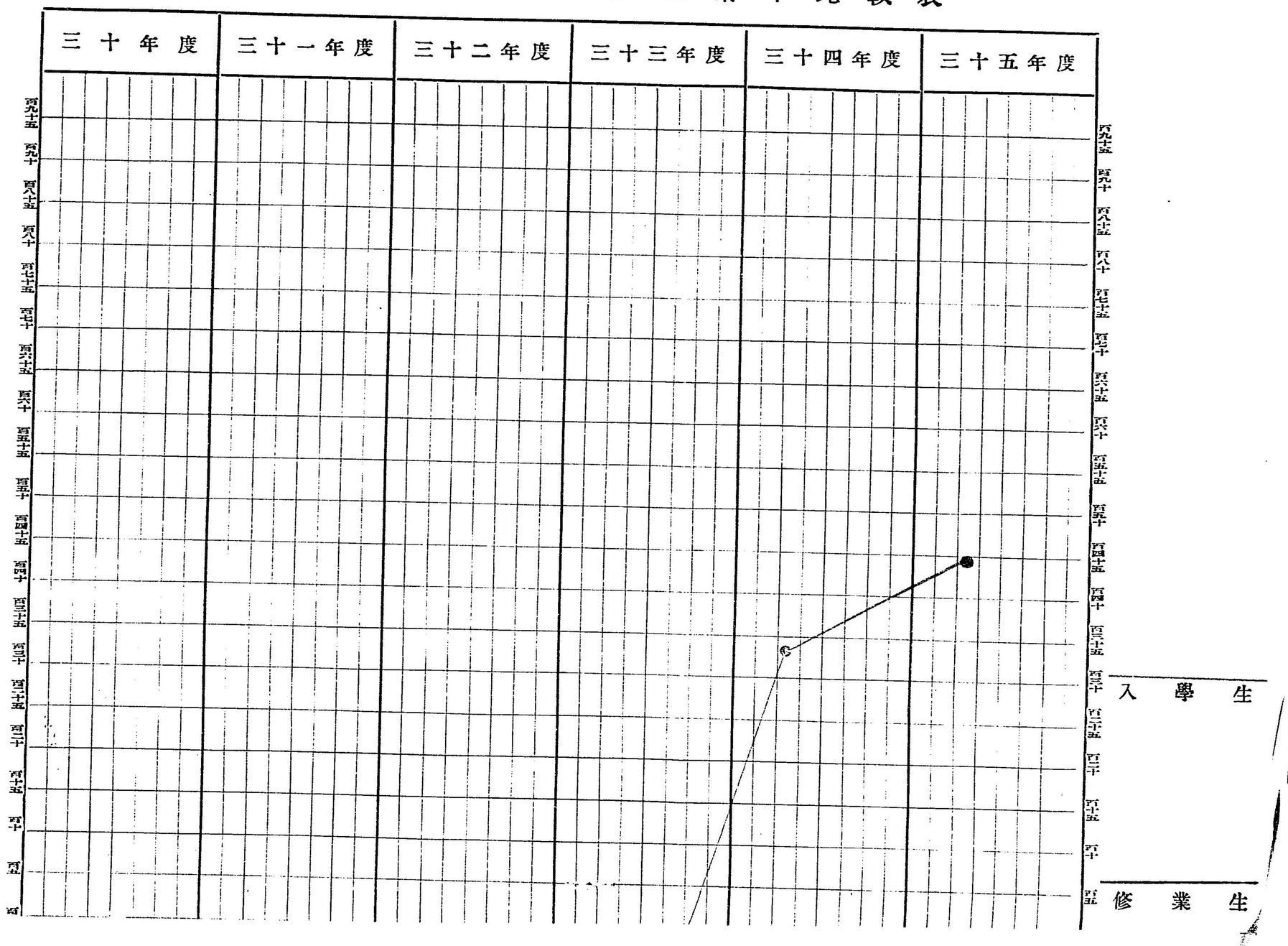
入學志願者

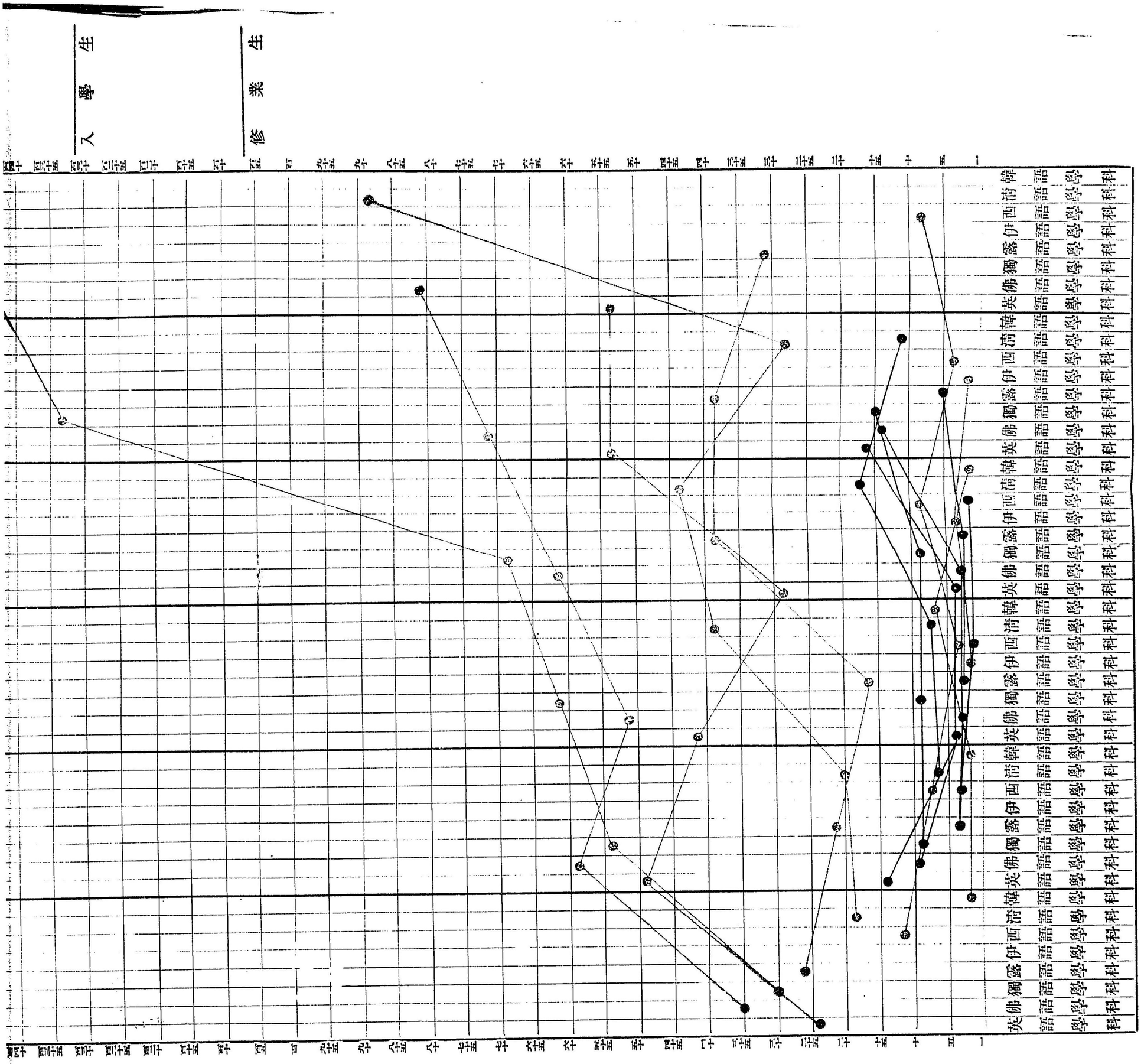
入學生

卒業生

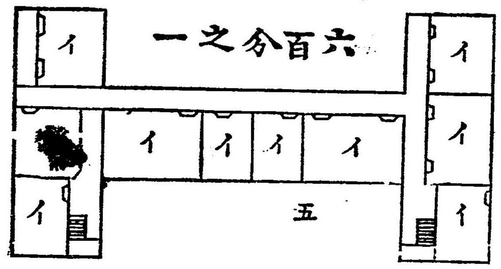

英國科學雜誌科學畫報科學世界科學大觀科學叢書科學通論科學概論科學原理科學新編科學新論科學新知科學新法科學新義科學新說科學新理科學新術科學新器科學新物科學新事科學新人科學新家科學新國科學新世界科學新大觀科學新叢書科學新通論科學新概論科學新

本校別科入學及修業生累年比較表




入學生
修業生
英語科
佛語科
獨逸語科
露西亞語科
伊太利語科
清國語科
韓國語科

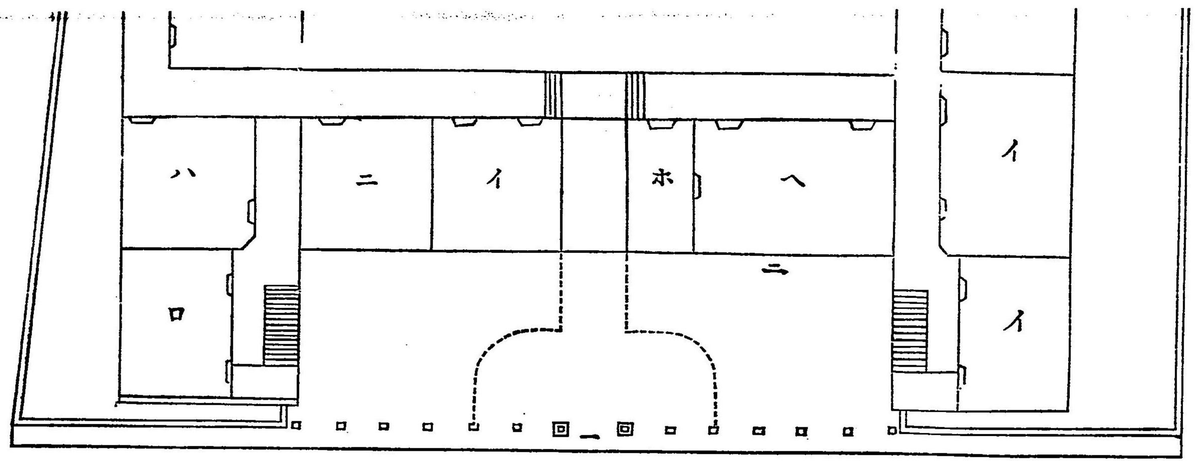
東京外國語學校略圖 (三百分之一)



一 表門
二 校舍
三 道場
四 便所
五 校舍二階

イ 教室
ロ 校長室
ハ 事務室
ニ 〃
ホ 受付
ヘ 教官扣所
ト 生徒扣所
チ 食堂
リ 宿直室
ヌ 小使扣所

地坪 四百六十五坪二合〇四才
建坪 (木造二階家) 百四十二坪
(〃 平家) 三十八坪二合五勺

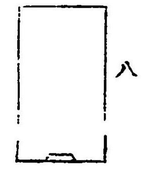


イ 教室
ロ 校長室
ハ 事務室
ニ 仝
ホ 受付
ヘ 教官扣所
ト 生徒扣所
チ 食堂
リ 宿直室
ヌ 小使扣所

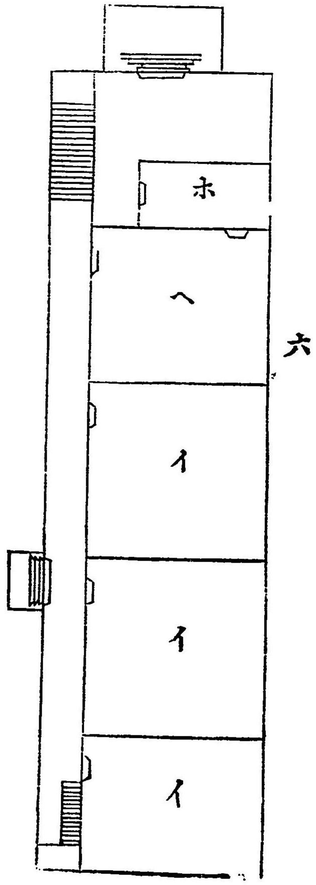
神田一ツ橋通

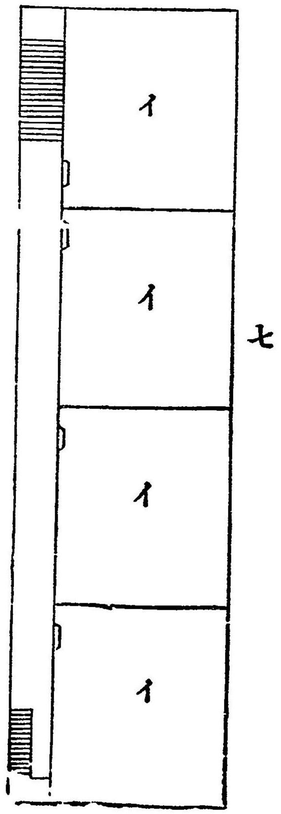
高等商業學校表門

分教場略圖 (三百分之一)



十 建坪(木造二階家)九十坪
(仝 平家)八坪五合



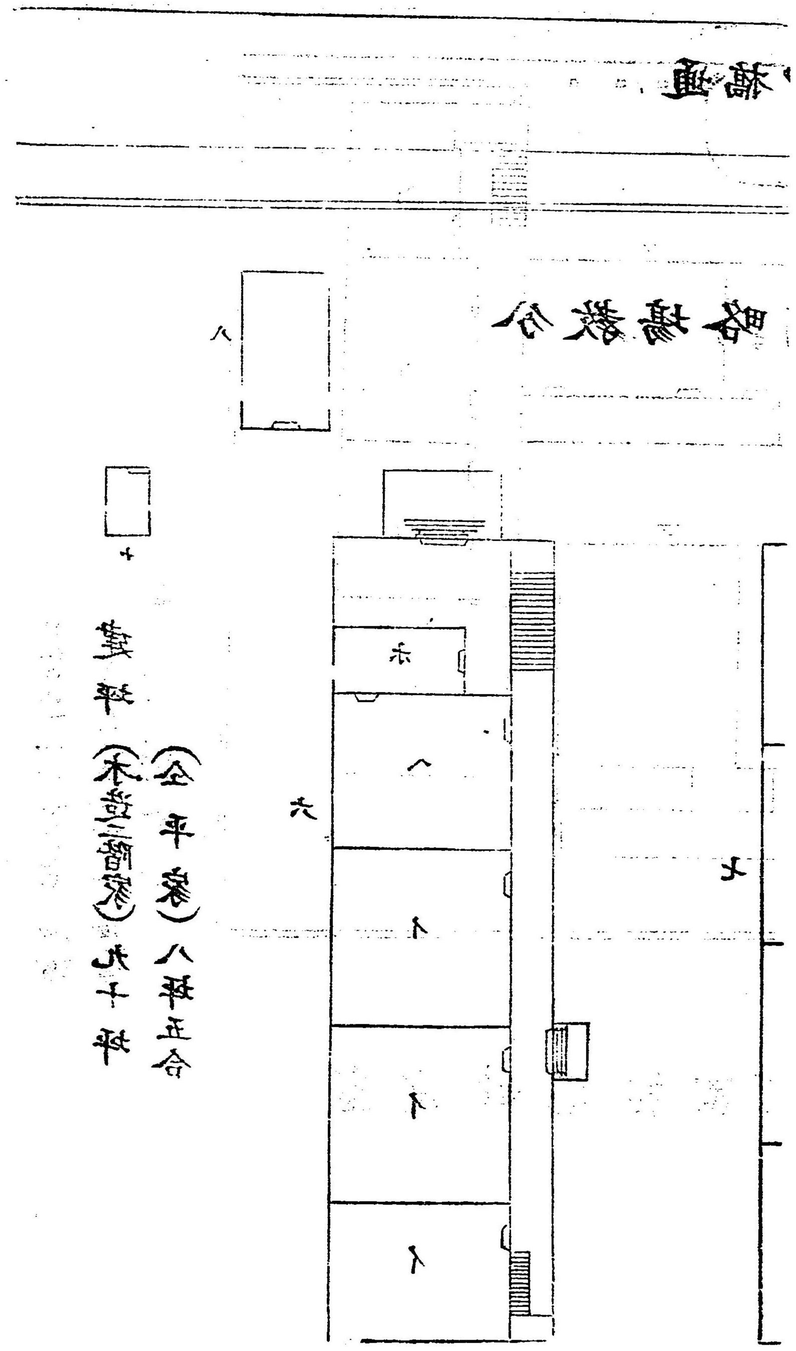


六 分教場
七 仝 二階
八 生徒扣所
九 便 所
十 裏 門

明治三十五年十二月廿日印刷
明治三十五年十二月廿三日發行

東京外國語學校

印刷者　佐藤正三
東京市麹町區飯田町二丁目二十七番地


通
八
六
六
六

東京外國語學校一覽

學年曆
沿革概略
東京外國語學校ニ關スル法令
官制
職員定員
高等官官等俸給令
雇外國人使用方
校長舍監特別任用令
專門學校令
專門學校入學者檢定規程
本校職員 一一
本校規則 一二
總則 一二
學科課程 一五
學年學期及休業 一六
入學在學及退學 一七
試業進級及卒業 一七
休學及缺席 一八
授業料 一八
特待生 一九
貸費 一九
委託生 二〇
研究生 二〇
撰科生 二一
別科規定 二三
一八
一八
一九
二一
二二
二八
三一
三二
三三
三四
三八
三九
四〇
四一

生徒心得　四三
懲罰　四四
研究生細則　四四
本校圖書館規則　四五
寄附金　五二
生徒現員　五二
生徒年齡表　八二
卒業生及其就業ノ場所　八三
別科修了生　九三
明治三十六年七月卒業式ニ於ケル演說祝詞等　一〇四
附
生徒府縣別表　一一〇
東京外國語學校々友會規則　一一九
東京外國語學會規則　一二五
入學及業卒生徒累年比較表
本校略圖
英佛獨露伊西清韓國言語區域圖

東京外國語學校一覽表

學年曆（自明治三十六年九月十一日至明治三十七年九月十日）

三十六年九月十一日　第一學期始
同　九月廿四日　休業（秋季皇靈祭）
同　十月十七日　仝（神嘗祭）
同　十一月三日　仝（天長節）
同　十一月廿三日　仝（新嘗祭）
同　十二月十六日　第一學期試業始
同　十二月廿四日　第一學期終
同　十二月廿五日　冬期休業始
三十七年一月七日　冬期休業終
同　一月八日　第二學期始
同　一月三十日　休業（孝明天皇祭）
同　二月十一日　仝（紀元節）

三十七年三月廿一日　仝（春季皇靈祭）
同　三月廿四日　第二學期試業始
同　四月三日　休業（神武天皇祭）
同　四月十日　第二學期終
同　四月十一日　第三學期始
同　六月十六日　學年試業始
同　七月十日　第三學期終
同　七月十一日　夏期休業始
同　九月十日　夏期休業終
同　同　學年終
毎日曜日　休業

沿革概略

本校ハ明治三十年四月高等商業學校ニ附屬トシテ設置セラレ同月文部省直轄諸學校官制改正ニ依リ神田乃武主事ヲ命セラル仝月文部省直轄諸學校職員定員改正ノ際本校ノ職員ヲ定メラル同年七月規則ヲ制定シ英佛獨露西清韓ノ七語學科ヲ設ケ生徒ヲ正科特別科ノ二種ニ區別シ正科ヲ三ケ年特別科ヲ三ケ年以内ノ修業年限トナシ九月ヨリ實施セリ同三十二年四月四日勅令第百十六號ヲ以テ本校ヲ東京外國語學校ト改稱シ同日勅令第百十八號ヲ以テ本校職員ヲ定メラレ同月五日神田乃武校長心得ヲ命セラレ同月二十一日更ニ校長ヲ命セラル同月校舍ヲ神田區錦町三丁目十四番地ニ移シ規則ヲ改正シ伊語ノ一科ヲ加ヘテ八語學科トナシ更ニ副科ヲ置ク又特別科ヲ別科ト改稱シ其修業年限ヲ二ケ年トナシ正科ヲ本科ト改稱シ同月ヨリ實施セリ同三十三年三月職員定員ヲ改正セラル同年四月七日校長神田乃武本官ヲ免セラレ同日文部省專門學務局長文學博士上田萬年校長事務取扱ヲ命セラル同年六月入學及貸費ニ關スル規則ヲ改正シ同年九月ヨリ之ヲ實施セリ同年十一月二十日東京帝國大學文科大學教授文學博士高楠順次郎

校長兼務ヲ命セラル同三十四年四月規則ヲ改正シ副科語學ヲ加ヘ又副科ニ四科ヲ增シ更ニ委託生研究生選科生ニ關スル規程ヲ設ケ同年九月ヨリ之ヲ實施シ同三十六年一月ヨリ新築校舍ニ移轉シ舊校舍ハ分教場トシテ之ヲ使用セリ

東京外國語學校ニ關スル法令

官制

勅令第八十六號(明治二十六年八月二十四日公布明治三十年勅令第百八號同三十二年勅令第百十七號同三十三年勅令第八十四號同三十四年四月勅令第二十四號ヲ以テ改正)

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京高等師範學校
廣島高等師範學校
女子高等師範學校
札幌農學校
盛岡高等農林學校

東京高等商業學校
神戸高等商業學校
第一高等學校
第二高等學校
第三高等學校
第四高等學校
第五高等學校
第六高等學校
第七高等學校造士館
山口高等學校
千葉醫學專門學校
仙臺醫學專門學校
岡山醫學專門學校
金澤醫學專門學校

長崎醫學專門學校
東京高等工業學校
大阪高等工業學校
京都高等工業學校
東京外國語學校
東京美術學校
東京音樂學校
東京盲唖學校

第二條第三條第四條第五條略ス

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
教授
助教授
書記

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トス生徒ノ教授ヲ掌ル

助教授ハ判任トス教授ノ職務ヲ助ク

第九條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條　以下第十六條及第十八條略ス

第十七條　專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

職員定員

勅令第八十七號(明治二十六年八月二十四日同三十二年勅令第百十八號同三十三年勅令第八十六號同三十四年三月勅令第二十五號及仝三十六年六月勅令第百三

號ヲ以テ改正）

第一條　文部省直轄諸學校職員ノ定員ハ左ノ如シ

但シ兼任ハ此限ニアラス

東京外國語學校

校長	一人
教授	二十一人
助教授	十一人
書記	五人

高等官官等俸給令

勅令第百十九號（明治三十二年四月四日公布）

第一條　文部省直轄諸學校長ハ高等官二等以下六等以上トス

東京外國語學校長東京音樂學校長及東京盲唖學校長ハ高等官三等以下六等以上トス

第二條　文部省直轄諸學校教官ハ高等官三等以下トス

第三條　文部省直轄諸學校ノ專任舍監ハ高等官四等以下トシ兼任舍監ハ本官ノ官等ニ從フ

第五條　文部省直轄諸學校教官ハ其授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ノ年俸ヲ給スルコトアルヘシ

第六條　文部省直轄諸學校教官ニシテ一校若クハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官並兼官ニ於ケル授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ應シ其本官ノ俸給ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

第七條　文部省直轄諸學校官制第十五條ニ依リ某學科ノ授業ヲ擔任スル囑託講師ニハ教官俸給額ノ內ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

雇外國人使用法

勅令第九十六號（明治二十六年九月九日公布）

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

校長舍監特別任用令

勅令第百十三號(明治三十年四月二十二日公布)

文部省直轄諸學校長ハ一ケ年以上奏任敎官ノ職ニ在リタル者ニ限リ同舍監ハ左ニ揭ル者ニ限リ試驗ヲ要セス文官高等試驗委員ノ詮衡ヲ經テ任用スルコトヲ得

一、一箇年以上奏任敎官又ハ奏任官待遇ノ敎職ニ在リタルモノ

一、三箇年以上判任敎官又ハ判任官待遇ノ敎職ニアリタルモノ

專門學校令

明治三十六年三月二十六日勅令第六十一號

第一條　高等ノ學術技藝ヲ敎授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第二條　北海道府縣又ハ市ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限リ專門學校ヲ設置スルコトヲ得但シ沖繩縣ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　私人ハ專門學校ヲ設置スルコトヲ得

第四條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ

卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術、音樂ニ關スル學術技藝ヲ敎授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並豫科研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並豫科研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第九條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ敎員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　公立專門學校ノ職員ノ旅費及給與ニ關スル規程ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第十一條　公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ
但シ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得
第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附則

第十三條　本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十四條　明治二十年勅令第四十八號ハ之ヲ廢止ス
第十五條　既設ノ公立又ハ私立ノ學校ニシテ本令ニ依ルヘキモノハ本令施行ノ日ヨリ一箇年以內ニ第四條ニ準シ認可ヲ申請スヘシ
前項ノ手續ヲ爲サヽルモノハ前項ノ期間ノ滿了ト共ニ廢校シタルモノト看做ス
第一項ノ手續ヲ爲スモ不認可ノ命令ヲ受ケタルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日ニ於テ廢校シタルモノト看做ス
第十六條　千葉醫學專門學校仙臺醫學專門學校岡山醫學專門學校金澤醫學專門學校東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

專門學校入學者檢定規程

明治三十六年三月三十一日
文部省令第十四號

第一條　專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
第二條　檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
一　年齡男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト
二　身體健全ナルコト
三　品行方正ナルコト
四　現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト
第三條　檢定ヲ分テ試驗檢定無試驗檢定ノ二トシ試驗檢定ハ官立公立ノ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ之ヲ行フ
第四條　試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ

又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條　官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ニ合格シタル者ニハ試驗檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第六條　官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ノ問題答案及成蹟表ハ五箇年以上保存スヘシ

第七條　官立公立ノ中學校若ハ高等女學校ハ試驗檢定手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條　左ニ揭クル者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

一　文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

二　明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試驗ニ合格シタル者

附則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

職員

校長

東京帝國大學文科大學教授　文學博士　高楠順次郎　兵庫縣士族

教授

英語　ドクトル、オブ、フヰロソフヰー（シカゴ大學）　淺田榮次　東京府士族

英語　マスター、オブ、アーツ（オツクスフヲルド大學）　東京高等師範學校教授　本田增次郎　岡山縣平民

獨語　ドクトル、フヰロソフヰー　マギステル、アルチウムポーノールム（ライプチヒ大學）　尺秀三郎　東京府士族

獨語　ドクトル、フヰロソフヰー　マギステル、アルチウムポーノールム（ライプチヒ大學）　山口小太郎　東京府平民

獨逸國留學中　東京高等師範學校教授　岡倉由三郎　東京府華族

獨語　マスター、オブ、ロース（エール大學）　水野繁太郎　岡山縣士族

國際法　ドクトル、アン、シヤンスポリチック、エー、アドミニストラーチーブ（ブルクセル大學）　福岡秀猪　東京府華族

韓語　文學博士文學士　金澤庄三郎　北海道士族

西語　文學士　村上直次郎　大分縣士族

英語　村井知至　愛媛縣士族
獨語　文學士　武内大造　埼玉縣平民
露語　鈴木於菟平　東京府平民
伊語　伊東平藏　東京府士族
西語　篠田賢易　東京府士族

露國留學中　文學士　八杉貞利　東京府士族

英語　第五臨時教員養成所教授　平井金三　東京府平民

外國教師（就職順）

佛語　ボール、ジヤクレー（パシユリエー、エス、レットルアカデミー、ド、パリー）　佛國人
韓語　柳莖根　韓國人
韓語　正三品趙慶協　韓國人
清語　雲騎尉于冲漢（ヂヨーゲ、ウヰリヤム、スミス）　清國人
英語　（ドクトル、オブ、フヰロソフヰー（ボストン大學））　英國人
英語　ジー、エッチ、ホースウエル　米國人

伊語　チエザレー、ノルサ　伊國人
露語　カンジダード、フヰロロジー、ルッス、スラヴオニック　ヤーコフ、ユゼフォウヰチ　露國人
獨語　オツトシエーレル　獨國人
清語　通判銜候選主事文生員　博啓　清國人
西語　リセンシヤド　エミリオ、サピコ　西國人

講師（就職順）

清語　宮島大八　山形縣士族
佛語　神藤才一　神奈川縣平民
漢文　長井行　東京府平民
露語　小島泰次郎　東京府平民
佛語　市野良雄　東京府士族
佛語　織田信義　東京府士族
教育學　文學士　村上辰午郎　石川縣士族
獨語　男爵　槇村正介　東京府華族

國語　落合直文　東京府士族
英語　片山寛　長野縣士族
露語　藤堂紫朗　東京府士族
佛語、經濟學　吉田義靜　熊本縣士族
清語　木野村政德　神奈川縣士族
清語　竹內修吉　三重縣平民
言語學　文學士　新村出　東京府士族
法制　ドクトル、アン、シヤンスポリチック（プルクセル大學）　古谷久綱　愛媛縣平民

助教授

佛語　瀧村立太郎　東京府士族
清語　岡本正文　愛媛縣士族
韓語　本田存　東京府士族
西語　金澤一郎　兵庫縣士族
獨語　田代光雄　東京府士族

露語　五十嵐清　岡山縣士族
英語　上條辰藏　長野縣平民
體操　土田半六　東京府平民
英語　宮崎議平　北海道平民
伊語　粟田三吾　東京府士族

囑託

衛生監督　陸軍一等軍醫　貝沼速　岩手縣士族
柔道及擊劍教師　鈴木鉄造　東京府平民

幹事

教授　尺秀三郎　前出

圖書館主事

講師　吉田義靜　前出

書記

會計主任　小澤銀十郎　長野縣士族

雇員

庶務掛 早川嘉儀 東京府士族
庶務掛 近藤菊雄 富山縣士族
庶務掛 稻葉宇作 新潟縣平民
圖書掛 石川功 廣島縣平民
敎務掛 新谷豐吉 福井縣平民
圖書掛兼敎務掛

（明治三十四年四月改正）

東京外國語學校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ外國語ニ熟達シ實務ニ適スベキ者ヲ養成スル目的ヲ以テ歐洲及東洋ノ近世語ヲ敎授スル所トス

現今ニ於テハ英語、佛語、獨語、露語、伊語、西語、清語、韓語ヲ敎授ス

第二條 本校生徒ノ修業年限ハ三箇年トス

第三條 本校ニ別科ヲ置クソノ規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 學科課程

第四條 本校ノ學科及課程左ノ如シ

各語學科課目及每週授業時數表

科目＼學科	正科語學	副科語學 英語	副科語學 佛語	副科語學 獨語	國語漢文	經濟學
第一年	一八	(四)	(四)	(四)	二	
第二年	一八	(四)	(四)	(四)	(一)	(三)*
第三年	一八	(四)	(四)	(四)	(一)	(三)*

科目＼學科	(英)(佛)(獨)語學科	(露)(伊)(西)語學科	(清)(韓)語學科
第一年	一八	一八	一八
第二年	一八	一八	一八
第三年	一八	一八	一八
第一年	(二) (二) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)
第二年	(二) (二) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)
第三年	(二) (二) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)	(三)* (一) (一) (四) (四) (四)
第一年	一八	一八	一八
第二年	一八	一八	一八
第三年	一八	一八	一八
第一年	四	四	三
第二年	四	四	二
第三年	四	四	二
第一年	(二)*	(三)*	(二)*
第二年	(二)*	(三)*	(二)*
第三年	(二)*	(三)*	(二)*

國際法		(三)*	(三)*							
教育學		(二)*	(二)*	(二)*	(二)*	(二)*				
言語學		(二)*	(二)*	(二)*	(二)*	(二)*		(一)	(一)	(一)
體操	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
計	二七	二八	二八	二七	二八	二八	二八	二九	二九	二九

注意

一、正科語學第二年若クハ第三年ニ於テハ當該各國ノ歷史地理及文學ノ大要ヲ教授スルコトヲ要ス

二、表中( )印ヲ附シタルモノハ隨意撰修スルヲ得撰修セル學科ハ總テ必修科トナシ正科語學體操ト同一ニ取扱フモノトス

第一項　英、佛、獨、露、伊、西、語學科ニ於テハ通常一週四時ノモノ一科及一週三時ノモノ一科若クハ一週二時ノモノ一科ト一週一時ノモノ一科ヲ撰修スルモノトス但前學年總評點ニ於テ平均七十點以上ヲ得タルモノハ許可ヲ經テ更ニ一科ヲ加フルコトヲ得

第二項　表中×印ヲ附シタル學科ハ一學年ニ於テ完結スヘキモノトス故ニ次學年ニ於テ同一ノ學科ヲ撰フコトヲ得ス

第三項　清韓語學科ニ於テハ通常一科ヲ撰修スルモノトス

更ニ一科ヲ兼修セントスルモノハ第一項但書ニ準シテ許可ス

三、以上各學科ノ外委託生、研究生其他ノ生徒ノ爲臨時科外講義ヲ開キ必要ナル補修學科ヲ授クルコトアルヘシ

第五條　本校生徒ニシテ第二年級以上ノモノハ學校長ノ認可ヲ經テ其所修學科以外ノ別科ヲ兼修スルコトヲ得

第三章　學年、學期及休業

第六條　學年ハ九月十一日ニ始リ翌年九月十日ニ終ル

第七條　學年ヲ分テ左ノ三學期トス

第一學期　自九月十一日至十二月二十四日

第二學期　自一月八日至三月三十一日

第三學期　自四月十一日至七月十日

第八條　年中休業日左ノ如シ

一日曜日
一秋季皇靈祭　秋分日
一神嘗祭　十月十七日
一天長節　十一月三日
一新嘗祭　十一月二十三日
一孝明天皇祭　一月三十日
一紀元節　二月十一日
一春季皇靈祭　春分日
一神武天皇祭　四月三日
一夏期休業　自七月十一日至九月十日
一冬期休業　自十二月廿五日至翌年一月七日
一春期休業　自四月一日至同月十日

第四章　入學、在學及退學

第九條　入學期ハ毎學年ノ始トス

但必要ノ場合ニ於テハ或語學科ニ限リ臨時入學ヲ許スコトアルベシ

第十條　本校ハ事宜ニ依リ所定語學科中一語學科若クハ數語學科ノ生徒募集ヲ爲サザルコトアルベシ

第十一條　中學校卒業生ニシテ品行方正身體健全ナルモノハ試驗ヲ要セズシテ第一年級ニ入學ヲ許ス

但志願者ノ數豫定人員ニ超過シタルトキハ競爭試驗ヲ行フ入學志願者豫定人員ニ滿タザルトキハソノ他ノ志願者ニシテ入學試驗ニ合格シタル者ヲ以テ之ヲ補フ

第十二條　中學校卒業後三ケ年ヲ經過シタル者ニ對シテハ事宜ニ依リ入學試驗ヲ施行スルコトアルヘシ

第十三條　入學試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ中學校所定ノ全學科ニ就キ之ヲ行フ

中學校卒業生ノ競爭試驗ハ左ノ四科目ニ就キ之ヲ行フ

一、國語漢文　二、地理　三、歷史　四、外國語

第十四條　第二年級以上ニ入ラント欲スル者ハ先ツ第一年級ニ入ルニ必要ナル資格ヲ檢定シ尋テ其志望學級以下ノ各級ノ課目ニ就キテ試驗ヲ行ヒ入學ノ許否ヲ定ム

第十五條　退學ヲ爲シタル者曾テ學修セシ語學科ニ再入學ヲ出願スルトキハ入學期ニ於テ試驗ヲ須ヰス原級若クハ其以下ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第十六條　入學志願者ハ第一號及第二號書式ニ準ジタル入學願書、履歷書ニ卒業シタル當該學校長ノ卒業證明書ヲ添ヘ指定ノ期日ニ於テ本校ヘ差出スヘシ

第十七條　中學校卒業生ニシテ入學ヲ許可セラレタルモノハ入學料金壹圓五拾錢ヲ納付スヘシ中學校卒業生ニ非ザル入學志願者ハ出願ノ際試驗料金三圓ヲ納付スヘシ

但既納ノ試驗料ハ試驗ヲ受ケザルコトアルモ返付セス

第十八條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ第三號書式ニ準シタル在學證書ヲ差出スヘシ

第十九條　正副保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ東京府内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者又ハ本校ニ於テ殊ニ適當ト認ムル者ニ限ル但正副保證人ノ中一名ハ父兄若クハ後見人ニシテ東京府外ニ居住セルモノヲ以テ之ニ充ツルモ妨ナシ

保證人死去若クハ前項ノ資格ヲ失ヒタルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ保證人旅行ヲ爲サントスルトキ又ハ轉居改印等ヲ爲シタルトキハ其旨届出ツヘシ旅行ノ場合ニ於テハ代理人ヲ定ムルコトヲ要ス

第二十條　在學中ハ他ノ語學科ニ轉スルコトヲ得ス

第二十一條　疾病等ノ故ヲ以テ成業ノ見込ナキ者ニハ退學ヲ命シ出席極メテ不規則ナル者若クハ二學年ヲ超ユルモ尚進級スルコト能ハザル者ハ除名ス

第二十二條　退學セント欲スル者ハ其事由ヲ詳記シ(病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ)保證人連署ノ上出願スヘシ

第一號書式　(用紙美濃紙)

入學願書

私儀御校何語學科本科(別科)第何年級ヘ入學志願ニ付御許可被成下度別紙履歷

書(幷ニ卒業證明書)相添ヘ此段相願候也

年月日

本籍族(職業)(戸主ニアラサル者ハ何某男又ハ弟等)

氏　名　印

何年何月何日生

現住所

東京外國語學校長宛

第二號書式　(用紙美濃紙)

履歷書

學業

一何年何月何地官(公私)立何學校ニ入リ何學科何年級修業或ハ全學科卒業又ハ何某ニ從ヒ何學何年間受業用書何々

(卒業證書ヲ有スル者ハ其寫ヲ添付スヘシ)

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何々ニ付賞又ハ罰ヲ受ク

以上

年月日

第三號書式　(用紙美濃紙)

在學證書

私儀今般御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ御規則等堅ク相守リ猥リニ轉校轉科退學等仕間敷ク仍テ證書如此候也

本籍族(職業)(戸主ニアラサル者ハ何某男又ハ弟等)

氏　名　印

何年何月何日生

現住所

年月日

東京外國語學校長宛

右何某今般入學致候ニ付テハ仝人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受可申候仍テ保證如此候也

族籍職業

正保證人　氏　　名印
住　所
族籍職業
副保證人　氏　　名印
住　所
何郡區長　氏　　名印

前書正副保證人何某ハ丁年以上ニシテ當郡區内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日

注意　父兄又ハ後見人ニシテ保證人タルモノハ郡區長ノ證明ヲ要セス

第五章　試業、進級及卒業

第二十三條　試業ヲ分テ學期試業及學年試業ノ二種トス

第二十四條　學期試業ハ第一學期及第二學期ノ終リニ於テ該學期間履修シタル課目ニ就キ之ヲ施行ス

第二十五條　學年試業ハ第三學期ノ終ニ於テ該學年間履修シタル課目ニ就キ之ヲ施行ス

第二十六條　評點ハ各課目一百ヲ以テ最高點トス

第二十七條　各課目ノ學期評點ハ學期試業點ト日課評點トヲ合算シテ之ヲ定ム

但日課評點ヲ採ラザル課目ニ於テハ學期試業點ノミヲ學期評點ニ充ツルコトヲ得

第二十八條　各課目ノ學年評點ハ二學期評點平均數ニ學年試業點ヲ加ヘ其和ヲ二除シテ得ル者トス

第二十九條　諸課目學年評點平均數ヲ學年總評點トス

第三十條　學年ノ終ニ於テ學年總評點六十以上ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ及第セシム

但平素缺席多キモノハ此限ニアラス

一、學年評點六十未滿ノ課目ナキ者

一、學年評點六十未滿ノモノ一課目アルモソノ評點四十五以上ニシテ且學年試業點若クハ學期評點平均數六十以上ノ者

一、學年評點六十未滿ノモノ二課目アルモ其評點共ニ五十以上ノ者若クハ一課目四十五以上他ノ一課目五十以上ニシテ孰レモ學年試業點若クハ學期評點平均數六十以上ノ者

一、學年評點六十未滿ノモノ總課目ノ半數以内ニシテソノ評點孰レモ五十以上ヲ有シ學年試業點若クハ學期評點平均數七十以上ノ者

第三十一條　原級ニ止メタル者ニハ次學年ノ始ヨリ該學級ノ全課目ヲ再修セシム

第三十二條　每學年ノ終ニ於テ進級シタル者ノ姓名ハ學年總評點ノ順ヲ以テ掲示ス

但第三十七條ノ場合ハ此限ニアラス

第三十三條　日課評點ヲ得サル者及許可ナクシテ學期試業若クハ學年試業ニ缺席シタル者ニハ總テ零點ヲ附ス

第三十四條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ許可ヲ經テ學期試業ニ缺席シタルモノニハ次學期ノ始ニ於テ追試業ヲ行フ

但此場合ニ於テハ試驗得點ヨリソノ十分ノ二ヲ減ズルモノトス

第三十五條　學年試業ヲ受クルコト能ハサル者ソノ病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ事故ニ係ルモノハソノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ試業當日若クハソノ以前ニ追試業ヲ願出ツルトキハ特ニ之ヲ許スコトアルヘシ

但追試業ヲ受ケント欲スル課目ノ學期評點平均數六十以上ニアラサレハ之ヲ許サス

第三十六條　追試業ハ次學年始業後三週日以内ニ之ヲ施行ス第三年級ノ生徒ニ對シテハ學年試業完了後直ニ施行スルコトアルヘシ

第三十七條　第三年級生徒ニシテ學年試驗ニ及第シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス卒業者ノ席次ハ各學年總評點平均數ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　休學及缺席

第三十八條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ノ爲メ二箇月以上出席スル能ハサル者ニシテ休學ヲ願出ツルトキハ事情ニ依リ該學年間之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十九條　休學願書ニハ保證人連署ヲ要ス病氣ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添

付スヘシ

第四十條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ全課目ヲ履修スルモノトス休學中ト雖モ許可ヲ得テ出席スルコトヲ得

第四十一條　兵役ニ服スル者ハ其現役中休學シ滿期ノ後原級ニ復スルコトヲ得

第四十二條　休學ノ許可ヲ得タル者ニハ第二十一條後段ヲ適用セズ

第四十三條　病氣又ハ事故ノ爲メ缺席スル者ハ其當日ヨリ三日以內ニ保證人連署ヲ以テ屆出ツヘシ病氣ノ爲メ五日以上缺席スル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スベシ

第四十四條　前條屆出ノ日附ニ後ルヽカ又ハ無屆缺席スル者ハ其情狀ニ依リ第三十條但書ニ準シテ處分ス

第七章　授業料

第四十五條　授業料ハ一學年金貳拾圓トシ每年二回九月及二月中指定ノ日ニ於テ其半額ヲ徵收ス

第四十六條　授業料納付期日ニ違フ者アルトキハ未納中停學ヲ命シ之ヲ保證人ヨリ徵收ス其未納三週日ニ至ルモノハ除名ス又同一ノ理由ニ依リ停學ノ處分ヲ受クルコト一學年間二回ニ及ブモノハ除名ス

第四十七條　既納ノ授業料ハ何等ノ場合ト雖モ之ヲ返付セス

第四十八條　病氣又ハ事故ニ因リテ缺席數月ニ渉ルコトアルモ授業料ヲ免除セズ

但第三十八條ニ依リ休學ノ許可ヲ得タルモノハ此限ニアラス

第四十九條　第九條但書第四十條後段第四十一條第五十四條但書ノ場合ニ於テハ直ニ授業料ヲ納付セシム

但九月授業料納付期日以後翌年一月三十一日以前ニ係ルモノハ授業料全額二月授業料納付期日以後七月十日以前ニ係ルモノハ半額ヲ徵收ス

第五十條　半途退校ノモノニシテ授業料納付期日以前ニ係ルモノハ其期間ノ授業料ヲ徵收ス

第八章　特待生

第五十一條　第二年級以上ノ生徒ニシテ學術優等品行方正ナル者ヲ選ヒ特待生

ト爲ス

第五十二條　特待生ハ授業料ヲ免除ス

第五十三條　特待生ハ毎學年ノ末ニ於テ其學年ノ成績ニ依リ學校長之ヲ定ム

第五十四條　學業ヲ怠リ若クハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生ヲ罷ム

但此場合ニ於テハ第五十二條ノ特典ヲ失フモノトス

第九章　貸費

第五十五條　貸費ヲ分テ保護貸費、奬學貸費ノ二種トス

第五十六條　保護貸費金ハ官廳ノ委託金又ハ有志者ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第五十七條　本科生ニシテ特別ノ保護ヲ要スル學科ヲ修メ學力優等品行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキ者ニハ當該年間年額百圓以内ノ學資ヲ貸附スルモノトス

第五十八條　本科生ニシテ學力優等品行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキ者ニハ當該年間年額百圓以内ノ奬學金ヲ貸附スルコトアルヘシ

第五十九條　貸費ヲ受ケント欲スル者ハ學業ノ目的及貸費希望ノ理由ヲ具シ保證人連署ノ上願出ッヘシ

第六十條　會社又ハ一私人ヨリ貸費資金ヲ寄附セントスルトキハ其目的ニ從ヒ甲號或ハ乙號ノ書式ニ準シタル開陳書二通ヲ差出シ學校長ノ承諾ヲ受クヘシ

第六十一條　貸費ヲ受クル者ハ丙號ノ書式ニ準シタル誓約書ヲ差出スヘシ

第六十二條　貸費ヲ受ケタル者ハ卒業ノ翌月ヨリ起算シ貸費ヲ受ケタル月數ニ二倍スル期限内ニ於テ其貸費金額ヲ月賦返納スヘシ

但第六十五條ノ場合及本人死亡ノ場合ハ貸費ヲ返納スルニ及ハス

第六十三條　貸費生ニシテ左ニ掲クル條項ノ一ニ當ルトキハ其貸費ヲ罷ム

一　學業懈怠ノ者

二　品行不良ノ者

三　試驗ニ落第シタル者

四　停學ヲ命セラレタル者

以上ノ各項ニ依リ貸費ヲ罷メラレタルモノハ第六十二條ニ準シ貸費ヲ返納

スヘシ

第六十四條　貸費生ニシテ退學及除名ノ處分ヲ受ケタル者又ハ病氣其他ノ事故ニ依リ退學スル者ハ其當日ヨリ三十日以内ニ既ニ受ケタル貸費金額ニ對シ一ケ年六分ノ利子ヲ附シ全額ヲ返納スヘシ

第六十五條　寄附者ハ貸費ヲ受クル者ニ對シ卒業後貸費ヲ受ケタル年數ト均シキ期限内某事業ニ從事セシムルコトヲ條件ト爲スコトヲ得

第六十六條　總テ返納金ハ本人之ヲ納メサルトキハ保證人ヨリ辨納セシムヘシ

第六十七條　保證人死去又ハ其資格ヲ失ヒタルトキハ直ニ代人ヲ立テ誓約書ヲ書換ユヘシ

甲　號（用紙美濃紙）

出金開陳書

何語學科生徒何名分學資トシテ金何圓（或ハ年々金何圓何回）ヲ東京外國語學校へ差出候間相當ノ生徒御選定貸與相成度尤右生徒卒業ノ上ハ某事業ニ從事爲致度儀ニ有之候間此旨彙テ誓約セシメラレ度此段開陳候也

年　月　日

東京外國語學校長宛

住所族籍

氏　名　印

乙　號（用紙美濃紙）

出金開陳書

何語學科生徒奬學ノ爲メ金何圓（或ハ年々金何圓何回）東京外國語學校へ差出候間相當ノ生徒御選定貸與相成度尤右生徒卒業ノ上從事ノ職業ハ別ニ制限不致候間貸與學資ハ御校ノ規定ニ從ヒ返納爲致更ニ他ノ生徒へ御貸與相成度此段開陳候也

年　月　日

東京外國語學校長宛

住所族籍

氏　名　印

丙　號（用紙美濃紙）

誓約書

私儀本年何月ヨリ何年何月迄本校保護貸費(又ハ何某ノ奬學貸費)金何圓貸與相受候ニ付テハ御校貸費規定ヲ遵守(且卒業後ハ何々事業ニ從事)可致萬一違背ノ節ハ保證人連帶ヲ以テ返納金其他一切ノ責ニ任スヘク仍テ保證人連署ノ上誓約仕候也

年　月　日

本人　東京外國語學校何語學科生徒
　　氏　名　印
　　住所　族籍職業
保證人　氏　名　印
　　住所　族籍職業
保證人　氏　名　印

東京外國語學校長宛

第十章　委託生

第六十八條　本校ハ官廳、會社、學校等ヨリ其目的ヲ指定シテ生徒ノ養成ヲ委託スル場合ニハ之ニ應スルコトアルヘシ

第六十九條　委託生ハ特別ノ規定アルモノヽ外本科生徒ト共ニ業ヲ受ケシムルモノトス

第七十條　委託生ハ其目的トスル語學科ヲ修ムルニ堪ユルヤ否ヤヲ檢定シテ入學ヲ許可ス

第七十一條　委託生ノ入學料授業料ハ本校規則第四章第十七條及第七章ノ規定ニ依リ徵收ス

第七十二條　委託生ニハ本人ノ申請ニ依リ修業證書ヲ交付ス

第七十三條　本科生徒ト同一ノ試驗ヲ經テ入學シタル委託生ニハ卒業證書ヲ授與ス

第七十四條　委託生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

第十一章　研究生

第七十五條　卒業生ニシテ本校所設ノ學科ヲ研究センコトヲ望ム者ハ學校長ノ

許可ヲ經テ研究生タルコトヲ得

第七十六條　研究ノ期限ハ二箇年以内トス

第七十七條　研究生ハ在學費トシテ金五圓ヲ指定ノ日ニ於テ納付スヘシ

但在學年間授業料ノ規定ヲ適用セス

第七十八條　研究生ハ保證人ヲ要セス

第七十九條　研究生研究ヲ終リタル時ハ本人ノ申請ニ依リ證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

第八十條　研究生ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ遵守スヘシ

第十二章　選科生

第八十一條　一語學科中ノ一課目又ハ數課目ヲ選ヒテ專修センコトヲ願出ツル者アルトキハ授業上差支ナキ場合ニ限リ學年ノ始ニ於テ選科生トシテ入學ヲ許可ス

第八十二條　選科生ハ所選ノ課目ヲ學修スルニ堪ユル學力アルコトヲ要ス

第八十三條　選科生ノ入學料授業料ハ本校規則第四章第十七條及第七章ノ規定ニ依リ徵收ス

第八十四條　所選ノ課目ヲ修了シタルトキハ本人ノ申請ニ依リ修了證書ヲ授與ス

第八十五條　選科生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

別科規定

第一條　別科ハ速成ヲ旨トシ本校所定ノ各語學ヲ教授スルモノトス

第二條　別科ハ職業ヲ有スル者若クハ特別ノ事情アル者ニ限リ學校長ノ意見ニ依リ入學ヲ許ス

第三條　別科ノ修業年限ハ二箇年トス

第四條　別科ノ教授時間ハ毎週十五時間以内トス

第五條　別科第一年級ニ入ラントスル者ハ入學試驗ヲ要セス但必要ト認ムルトキハ殊ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第六條　別科ハ毎學期ノ始ニ於テ入學ヲ許ス但第二學期以後ニ入學セントスル者ハ試驗ノ上之ヲ許ス

第七條　事宜ニ依リ或語學科ノ生徒募集ヲ爲サヾルコトアルヘシ

第八條　別科入學料ハ金壹圓トス但第二章第五條ニ依リ兼修スル者及本校卒業生ニシテ入學スル者ハ之ヲ納付スルニ及ハス

第九條　別科授業料ハ一學年金拾圓トシ第一學期ニ四圓第二學期ニ三圓第三學期ニ三圓ヲ指定ノ日ニ於テ徴收ス但本校規則第二章第五條ニ依リ兼修スル者及別科生ニシテ所修語學以外ノ學科ヲ修ムル者ニハソノ兼修學科ニ對シ授業料ヲ半減ス

第十條　別科生ニハ本校規則第四章第二十一條ノ後段第五章第三十五條但書第三十六條ノ規定ヲ適用セス

第十一條　病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ許可ヲ經テ學期試業ニ欠席シタルモノニハソノ學期間ノ成蹟ヲ參酌シ認定點ヲ付スルカ又ハ追試業ヲ受ケシムヘシ

第十二條　別科ヲ修了シ一定ノ試驗ヲ經タル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第十三條　別科ヲ修了シタル者ニシテ尚温習セント欲スル者ハ原級ニ留マルコトヲ得

第十四條　別科生ニハ休學、特待生、貸費ノ規定ヲ行ハス

第十五條　別科生ニハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ本校諸規則ヲ適用ス

生徒心得

第一條　本校生徒ハ常ニ敎育勅語ヲ遵奉シ須臾モ之ニ背カサランコトヲ期スヘシ

第二條　學業ヲ勵ミ規律ヲ守リ言行ヲ愼ミ苟モ生徒タル本分ヲ失フコトアルヘカラス

第三條　本科生ハ制服制帽ヲ着用シソノ他ノ者ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第四條　學校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ校内ニ於テ猥ニ會同スヘカラス

第五條　本籍氏名又ハ宿所ヲ變更シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第六條　凡ソ告示ハ之ヲ掲ケタル日ヨリ一般ニ知了シタル者ト認ムルヲ以テ常ニ之ニ注意スヘシ

第七條　校内所定外ノ場所ニ於テ飲食喫煙スヘカラス

懲罰

第一條　規則及命令ニ違背スル者校内ノ風紀ヲ害スル者又ハ怠惰不品行等生徒タルノ資格ヲ失スル者ハ其輕重ニ依リ之ヲ處罰ス但處罰ハ德義ニ基キテ之ヲ斷シ單ニ形跡ノミニ拘ハラサルヘシ

第二條　罰科ヲ分テ戒飾、停學、放校ノ三種トス但他ノ規則ニ明文アルモノハ其條規ニ依リ處分ス

第三條　戒飾ハ訓誨ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ停學ハ一ケ年間以内教室ニ入リテ學修スルコトヲ停メ放校ハ學校ヨリ放逐スルモノトス

東京外國語學校研究生規定細則（明治三十五年三月三日制定）

第一條　本校卒業生ハ隨時學校長ノ許可ヲ經テ研究生タルコトヲ得

第二條　本校研究生ハ本校所設學科ノ教授ヲ傍聽スルコトヲ得

第三條　本校研究生ハ書信ヲ以テ質問ヲナスコトヲ得

第四條　本校各教師ハ一週一時間以内研究生ノ爲メ其質問ニ應ス

第五條　本校研究生ハ二ケ年以内ニ其研究ノ結果タル論文ヲ提出スヘシ

第六條　本校ニ於テハ研究生ノ爲メニ毎學期一回ツヽ、科外講義ヲ開設ス

第七條　研究生ハ在學費トシテ入學後三ケ月以内ニ必ラス金五圓ヲ納付スヘシ

東京外國語學校圖書館規則（明治三十六年五月制定）

第一章　總則

第一條　本校ノ圖書ハ總テ書庫ニ貯藏スルモノトス

第二條　圖書ヲ分テ左ノ二種トス

第一種　通常圖書

第二種　貴重圖書

第三條　本校職員及生徒ハ圖書ヲ閲覽シ又ハ借受クルコトヲ得

第四條　諸官廳若クハ公私團體及其役員ハ校長ノ許可ヲ經テ圖書ヲ閲覽シ又ハ借受クルコトヲ得

第五條　掛員ノ外故ナク書庫ニ出入スルコトヲ得ス但職員研究生及前條ノ許可ヲ得タル者ニシテ圖書ノ檢索ヲ要スルトキハ此ノ限ニアラス

第六條　第二種ノ圖書ヲ閲覽シ若クハ借受ケントスルトキハ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第一種ノ辭書、諸學科ニ通スル參考書及閲覽室備付ノモノヲ借受ケントスルトキハ亦同シ

第七條　公用ニ非ラサレハ同一ノ圖書二部以上ヲ閲覽シ又ハ借受クルコトヲ得ス

第八條　本館ニ委託セラレタル圖書ハ本校ノ圖書ト同一ノ取扱ヲ爲スヘシ

第二章　圖書借覽

第九條　圖書ヲ閲覽セントスル者ハ閲覽證用紙ニ式ノ如ク記入シテ之ヲ掛員ニ差出スヘシ

第十條　本科生ハ制服制帽ヲ着用シ其他ノ者ハ圖書閲覽票ヲ携帶スルニアラサレハ閲覽所ヘ入ルコトヲ得ス

第十一條　撰科生及別科生ニシテ圖書ヲ閲覽セント欲スル者ハ學年毎ニ圖書閲覽票ノ交付ヲ受クヘシ

第十二條　圖書閲覽ハ閲覺所ニ於テシ他所ヘ携出スルコトヲ得ス

第十三條　生徒ハ一員ニ付同時ニ五冊以上ヲ閲覽スルコトヲ得ス

第十四條　閲覽所ニ在リテハ喫煙、音讀、談話等渾テ他人ノ防害ト爲ルヘキ行動ヲ爲スヘカラス

第十五條　閲覽所ハ休日及大祭日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク其時限左ノ如シ

從九月十一日至十月卅一日　午前八時ヨリ午後四時マテ
從十一月一日至二月廿八日　午前九時ヨリ午後四時マテ
從三月一日至七月十日　午前八時ヨリ午後四時マテ
從七月十一日至九月十日　午前八時ヨリ正午十二時マテ

但土曜日ハ正午十二時限リトス

第十六條　圖書ヲ借受ケントスル者ハ借用證用紙ニ式ノ如ク記名捺印シテ之ヲ掛員ニ差出スヘシ

第十七條　圖書ノ貸付冊數ハ五冊ヲ以テ限度トス

但公用ノモノハ此限ニアラス

第十八條　生徒カ圖書ヲ借受ケント欲スルトキハ主任敎授ヨリ保認證ヲ受ケテ掛員ニ差出スヘシ

但研究生ハ本條ノ規定ヲ適用セス

第十九條　本科生、撰科生及別科生ノ借受ケ得ヘキ圖書ハ敎科書ニシテ本校ニ數部ヲ備フルモノニ限ル

第二十條　借受圖書ハ他人ヘ轉貸スルコトヲ許サス

第二十一條　借受圖書ハ七月十日迄ニ返納スルコトヲ要ス

第二十二條　左ノ場合ニ於テハ其借受ケタル圖書ハ悉ク之ヲ返納スルコトヲ要ス

一、職員カ退職若クハ轉任スルトキ

二、生徒カ退學若クハ休學スルトキ

三、第四條ノ借受者カ其資格ヲ失フトキ

第二十三條　夏期休業中ハ職員ヲ除クノ外校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ圖書ヲ借受クルコトヲ得ス但本條ニ依リ借受ケタル圖書ハ其休業ノ末日迄ニ之レヲ返納スルコトヲ要ス

第二十四條　貸付シタル圖書ハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

但點檢ノ爲メニスル場合ハ公用貸付ノ圖書ニ限リ掛員出張シテ檢閲スルコトアルヘシ

第三章　圖書檢索

第二十五條　圖書ヲ檢索セントスルトキハ其旨ヲ掛員ニ告ケ承諾ヲ得ヘシ但研究生ハ主任敎授ヨリ保認證ヲ受ケ之ヲ掛員ニ差出シタル後本條ノ手續ヲナスヘシ

第二十六條　同時ニ五人以上書庫ニ入リ圖書ヲ檢索スルコトヲ得ス

第四章　制裁

第二十七條　圖書ヲ汚染毀損若クハ紛失シタルトキハ修理ヲ加ヘ又ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシム

但時宜ニ依リ修理費用又ハ相當ノ代價ヲ徵收スルコトアルヘシ

第二十八條　本則ニ違背シタルモノハ其輕重ニ從ヒ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖

書ノ閲覧及借受ヲ禁スルコトアルヘシ
但第二十二條ノ規定ハ本條ノ場合ニ準用ス

様式

(一)圖書閲覧票

三寸九分

表面

250

東京外國語學校
圖書閲覧票

語學科　科第　年
姓名
自明治　年　月
至明治　年　月

二寸三分

備考　本票用紙厚紙ヲ以テ製ス

裏面

一本票ハ本學年間有効トシ次學年ニ於テハ更ニ引換交付スヘシ
一閲覧所ヘ入場ノ節ハ必ス本票ヲ携帯スヘシ
一本票ハ他人ヘ轉貸スルハ勿論汚染又ハ毀損等ノコトアルヘカラス
一本票ヲ遺失シタルトキハ速ニ届出ヘシ
一卒業若クハ退學スルトキハ本票ヲ返納スヘシ

表ニ圖書掛ノ印

(二)圖書檢索保認證

檢索保認證

(何)語學科研究生
氏名

右ヘ圖書ノ檢索ヲ承認相成度候也

明治　年　月　日

主任教授　氏名　印

(三)圖書借受保認證

保認證

一何々何冊
右今般何々ノ教科書ニ相用候
條該生徒ヘ貸與相成度候也

明治　年　月　日

主任教授　氏名　印

寄附

本校設置以來金員及建物ヲ寄贈セシモノ左ノ如シ

寄贈品及寄贈ノ名義	寄贈者
伊語科生徒奬學貸費金	伊學協會長侯爵鍋島直大
柔道及擊劍道場	東京外國語學校々友會長 文學博士 高楠順次郎

本校生徒現員

（明治三十六年九月末日調）

本科生

英語學科第三年級

小野	赴（靜岡）	加唐	謙吉（東京）
松本	肇（島根）	清水	家助（兵庫）
今西	喜藏（奈良）	長谷	省一（三重）
山田	藤助（山口）	松田	宗二（宮崎）
杉田	善次（東京）	堀	曉三（廣島）
角田	松次郎（群馬）	本多	石介（福井）
北村	良三（香川）		
中村	叔平（長野）		
齊藤	二三（山口）		
安田	政治郎（東京）		

仝　第二年級

内田	正一（東京）	城谷	默（東京）
加納	直人（福岡）	杉本	寬次郎（高知）
藤本	治郎（愛媛）	町田	長種（靜岡）
青木	敬三（新潟）	岸本	光治（大阪）
奈古屋	英馬（山口）	小泉	熊男（新潟）
五島	治郎八（大分）	岩切	鳳一（鹿兒島）
兼	弘正雄（鹿兒島）	仙波	重義（福岡）
石黑	覺太郎（石川）	西尾	宣次郎（大阪）
宍戸	千顯（愛媛）	上田	義雄（大分）
湯下	惣一（東京）	南部	實吉（高知）
楠瀨	正躬（高知）	武田	勝三（愛媛）
宇都宮	浩（大分）	小川	吉雄（新潟）
淺野	寅治郎（岐阜）	阿比留	聿（長崎）
中富	敏夫（福岡）	井上	正直（愛媛）
		林	修一郎（愛知）
		三俣	一郎（群馬）
		小倉	二郎（千葉）
		吉良	馬吾（高知）
		工藤	慧達（熊本）
		小野	友民（福島）
		鈴木	清八（福島）
		岩田	重行（愛知）
		設樂	眞太郎（埼玉）
		山名	貞夫（和歌山）
		中村	精一（東京）
		フアーン、ラーモス（ヒリツ人）	
		ラファエール、ラーモス	仝上

仝　第一年級

岡	健夫（山口）	佐藤	均（大分）
		增田	朴（熊本）

佛語學科第三年級

横地良吉（東京）	川島任三（埼玉）	松澤有治（佐賀）
小倉鎬（島根）	佐々木賢治（大阪）	桑折鐵次郎（愛媛）
安永邦弘（愛媛）	中村愼吾（山形）	久保尊德（東京）
坪井新次郎（岡山）	中澤藤甫（長野）	小松崎茂（茨城）
細江逸記（三重）	宮治金藏（神奈川）	根本儀太郎（秋田）
篠誠一（東京）	町原重光（福井）	生明梅三郎（群馬）
鎌田敬四郎（福島）	森怒一（熊本）	岸衛（東京）
西村晃一（山口）	月岡豪（福島）	松本晉二（岡山）
平田正（鹿兒島）	田中篤（山形）	遠矢良彥（鹿兒島）
岡野小太郎（茨城）	矢野晉（愛媛）	若月若胖（山梨）
來住順藏（兵庫）	大杉延雄（靜岡）	任傳榜（清國人）
山口鏢次郎（新潟）	川治庄太郎（福井）	小林林次郎（群馬）
河合義一（兵庫）	若月馥次郎（茨城）	水澤定（東京）
早川忠哉（山梨）	下川正治（東京）	長田剛雄（山梨）
西村潤藏（神奈川）	本間武彥（兵庫）	市川恒吉（岐阜）
道明英次（東京）	脇坂孝之助（東京）	安藤惟一（東京）

仝　第二年級

守山政吉（長崎）	田島清（高知）	平瀨保之助（福井）
山川八太郎（大阪）	館村甚治（石川）	森田安吉（香川）
志賀要次郎（東京）	田口作郎（秋田）	海野幾之助（茨城）
志村鑄太郎（東京）	龜割睦男（長野）	佐藤政次郎（宮城）
和田幸彥（福井）	小枝指健造（岩手）	高木秀雄（佐賀）
青木英彥（東京）	土居晴見（高知）	伊藤閤也（愛知）
町田梓樓（長野）	吉良歌吉（高知）	吉岡七郎（東京）
宮本文彌（埼玉）	西川亮一（東京）	

仝　第一年級

草間末治（長野）	畠山忠（兵庫）	中村敬一（岡山）
天野虎若（山口）	大桑致節（石川）	關谷長治（大分）
太原甫吉（靜岡）	穗積敬彥（德島）	宮崎滿（大分）
中島德郎（大分）	長崎春義（鹿兒島）	板倉四郎（千葉）
兒玉隆三（山口）	三好浩介（山形）	宍戸乙彥（山口）
松岡八郎（青森）	上田村次郎（愛媛）	中根信尾（東京）
原達（岩手）	松丸健（東京）	町田均（群馬）

長谷川國三（神奈川）　椹正明（香川）　森田正雄（愛知）
古川敬次（佐賀）　香取吉萬（靜岡）　鈴木節（福島）
田中貞次（埼玉）　今井富次（富山）　大西重太郎（石川）
山本與一郎（福岡）　林庸三（東京）　鈴木重成（宮城）
山成勉之進（東京）　山川庸次郎（山形）
渡邊透市（新潟）　小野耕一（東京）

獨語學科第三年級

莊直一（岡山）　谷與一（岡山）　黑塚壽一（佐賀）
井上直志（鹿兒島）　渡邊格太郎（福岡）　小笠原昌齋（山梨）
西原泉之助（愛媛）　伊藤英樹（高知）　國岡三樹（福島）
大谷基輔（東京）　中溝多摩吉（東京）
飯島道修（東京）　綱島清次郎（新潟）

仝　第二年級

鶴貝重太郎（栃木）　塙信吉（茨城）　高辻豊（埼玉）
横井忠吉（大分）　藤野義二（神奈川）　竹崎虎惣太（高知）
外山高一（東京）　羽根田良三郎（埼玉）　岸敏（岡山）
石高令太（新潟）　長谷川竹藏（福岡）　村上竹藏（福岡）

鈴木正武（福島）　麥倉嘉吉（東京）　山内壽男（栃木）
安立辰彥（東京）　山田俊三郎（岡山）　藤原性信（德島）
高林盛彌（東京）　梅山讓（群馬）

仝　第一年級

關口信次（茨城）　仁木周藏（新潟）　村田正太（高知）
石倉一（千葉）　奥野七郎（富山）　中野公一（高知）
鹽月民彌（愛媛）　藤井治郎（廣島）　井土剛之助（福岡）
池內篤（宮崎）　田仲四郎（大分）　江塚秀四郎（靜岡）
日下部佐太郎（京都）　向井鐵次（兵庫）　三浦四一郎（新潟）
飯田安男（大阪）　大屋道雄（島根）　桂俊眞（東京）
松崎爲三郎（廣島）　古賀圓藏（福岡）　島田昌三（群馬）
寺田敏夫（靜岡）　鈴木啓介（福島）　田中五郎（廣島）
川南盛利（鹿兒島）　坂本忠恕（廣島）　飯島省一（靜岡）
橋本繁太郎（廣島）　和田增平（山口）　瀧山轍二（廣島）
堤勇（熊本）　山地英夫（香川）　岡和田三郎（福島）
石附秀一（新潟）　多治見國豐（茨城）　梅木旻（大分）
都鳥次郎（岩手）　藤田義信（東京）　大谷豐顯（山形）
岡本績（和歌山）　安田不二麿（岐阜）　高橋近義（東京）

富永清人（熊本）　梶川乾堂（愛知）　森本六郎（大分）
井田侍郎（神奈川）　丸山巖淨（長野）　栗原重康（福井）
坂本勉（神奈川）　山本壽一（愛知）　中島精一（東京）

露語學科第三年級

北島常晴（東京）　大江久太郎（香川）　植田一夫（神奈川）
石井良直（北海道）　竹津檉（石川）　栗原信男（東京）
佐和彌一郎（群馬）　山岡光太郎（廣島）　兒玉豐彥（鹿兒島）
中尾秀男（東京）　長澤貞（栃木）　熊谷直吉（秋田）
牧野左馬三（大分）　飯泉孫次郎（茨城）

仝　第二年級

樺山猛一（鹿兒島）　木下三番（福井）　有門勇平（福岡）
島田正靖（高知）　新井三郎（群馬）　家村盛吉（鹿兒島）
高畑誠一（香川）　諸岡三郎（長崎）　黒柳良之助（東京）
十時惟親（福岡）　酒井醇（靜岡）　花俣幸昌（埼玉）
成瀨正義（東京）　浪江良平（埼玉）　佐藤寬（福井）
平田稔（和歌山）　藤平文藏（岩手）　木村恪（愛知）
三ヶ尻邦彥（大分）　谷村清兵衛（富山）　城子悌二郎（長野）

内藤賴吉（愛知）　平下信一（廣島）　藤井董（愛媛）
加藤明（愛知）　甘利四郎（長野）　橘口九十馬（長崎）
白河太司（新潟）　原利一（廣島）　酒井泉（佐賀）
廣瀨徹（石川）　高島榮作（茨城）

仝　第一年級

宮崎繁郎（長野）　竹內眞道（北海道）　林彌四郎（佐賀）
山德貫之助（東京）　川原慶助（鹿兒島）　高屋弘（青森）
前田茂穗（福井）　滿田保太郎（山梨）　佐藤有二（兵庫）
生田武（福井）　野口一三郎（新潟）　伊丹正雄（熊本）
檀野貞記（東京）　大井包高（長野）　小磯朗一（長野）
淺野高輿（長野）　上田熊生（大分）　長原顯證（石川）
島田元麿（石川）　荒井孫助（富山）　中村彌太郎（東京）
高橋精一郎（岡山）　小川基一郎（千葉）　篠崎正三九（栃木）
島田滋（高知）　吉田榮（福井）　安村省三（岩手）
川谷幸左衛門（島根）　郡司智麿（北海道）　加藤潔（千葉）
辻光雄（福岡）　鈴木鄰吾（靜岡）　岡村敬三（熊本）
川上秀雄（廣島）　榎原延吉（東京）　野村明（北海道）

伊語學科第三年級